京城日報

二日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 (郵送料前金) 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄内一行金壹圓 ▲三號活字は二行 ▲六號活字は五號活字同樣 ▲指定一行金拾錢增 ▲場所指定の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯 三四五番 營業 三二六番 一二一四番 振替貯金口座京城 一六〇〇番 三〇〇番

◎我兵支那兵に傷けらる

一日午前一時周村の我守備隊第九中隊附の兵一名歩哨の任務に就き居る際支那兵の射擊を受け右肩に貫通銃創を受けたり(青島電報)

◎支那兵暴行と抗議

濟南府に於ける支那軍隊は革命黨防禦以外商埠地内に發砲し危險極りなきより帝國政府は日置駐支公使に電命して北京政府に對し今後在濟南我居留民の生命財産に危險なき樣其保障を要求せり(東京電報)

◎袁總統過度の神經衰弱

佛蘭西人ドクトル、ブシエヒ氏は最近袁總統を診察せしが同醫師の語る處に依れば袁總統は過度の神經衰弱に罹り居りて日常の事務を執りつゝあるも仲々困難なり最近濟南方面より歸京せる阪西大佐及び新任蘇國公使の國書捧呈の爲め袁氏に謁見を求め居るも其の時日猶確定せず是れ病氣を慮る爲めならん(北京特電)

◎梁段張勢を得

袁總統は梁士詒段芝貴を股肱として重用し張勳の兵力を以て各地の革命亂を鎭壓せしめ居れるが北方の中心勢力は梁段張の三者に移り段祺瑞馮國璋は失脚の地位に立ちて振はず(北京電報)

◎モ顧問の來朝

支那政府顧問モリソン博士は二日長崎に著し直ちに上京の筈なり(東京電報)

◎對支外交攻擊

政府の對支外交不振に憤激せる各種團體簇出し攻擊運動を開始せり近く聯合大會の開催を見るに至るべし(東京電報)

▲別電 東京に於て近く對支外交國民大會を開催し大に當局を攻擊する處あらんとす

◎黄興上海に向ふ

黄興は張繼と密議の結果五月廿二日日本を發し上海に向へり(東京電報)

◎米軍墨國より撤せす

華盛頓來電の信憑し得べき報道に依ればカランザ將軍が米墨の境界を守備し得る實力ある事を確認する曉迄米國軍は墨國より撤兵せざるべしと(電通電報)

◎英國陸軍行動の批難

吉元帥攻擊=減俸の動議提出

倫敦來電に曰く英國陸相キッチナー元帥の俸給を減俸せんとする動議下院に提出され之に關聯してチャーチル氏は開戰以來英國陸軍の行動の缺點だらけなるを擧げ盛にキッチナー元帥を攻擊せり(紐育電報)

◎獨軍最善の努力

ヴェルダン方面軍隊の集中

デーリー、テレグラフ紙ロッテルダム通信員所報に曰く獨軍はヴェルダンに對し更に最後の手段を執らんが爲め軍隊を集中しつゝあり其の希望はヴェルダン戰開始以來未曾有の大さにして露國戰線より與ふ限りの兵力を剝ぎ去りたり報せらるゝ所に依れば最近のソヘネ援軍中には墺太利兵一千名含まれ居れりと(紐育電報)

◎獨逸敗戰是認

竹林來電の獨逸公報は佛軍がヴェルダン要塞モルトム附近にて獨軍塹壕四百米突を奪取せる事を是認せり(紐育電報)

◎日本義勇兵採用

晩香坡に於ては日本義勇兵十五人を採用せり(晩香坡電報)

◎輸出貿易旺盛

歐洲戰亂の影響により軍需品の輸出激增し本年の貿易界は未曾の活況を呈し前途亦頗る有望なるを以て本年は輸出超過額二億圓以上に上るべき豫想なり(東京電報)

◎工場法と責任

工場法實施期變更に伴ふ勅令改廢の責任に關し種々の議論あるも結局内閣及び當該大臣には及ばざるべし(東京電報)

◎新露大使謁見

親任狀捧呈期

新任駐日露國大使クルーペンスキー氏は三日宮中に參内 天皇陛下に謁見仰付られたる上露國皇帝陛下の親任狀を闕下に捧呈すべし(東京電報)

◎野田東拓副總裁

野田東拓副總裁は貝島太助氏の病氣見舞の爲め二日朝歸來せるが一週間滯在の豫定なりと(門司特電)

◎生絲下落

橫濱市場に於ける生絲下落し漸次下向きの氣配なり(東京電報)

◎典獄會議(第五日)

典獄會議第五日は前日に引續き二日午前九時より總督府第二會議室に開催、當日は午前午後とも出席者双互の打合せありて四時散會したり

◎定例長官會議

二日は定例長官會議日なるより午前十時總督府第一會議室に開會、寺内總督、山縣政務總監以下各部長官、局長等出席し重要政務に就き協議、打合の上正午散會したり

◎德壽宮午餐會

李太王殿下は三日午後零時三十分より寺内總督山縣政務總監を德壽宮に招待、午餐會を催さるゝ趣なるが小松局長、兒玉總務局長、森、高橋兩武官、池邊遠藤兩秘書官、大塚副官等も列席の筈なり

◎同業組合認定

朝鮮重要物産同業組合令に依り組合を設置するを得べき業務の種類は五月卅一日附官通牒第七十六號に依り認定されたり即ち目下の所米、大豆、牛、豚、家禽及其の畜産物、棉花、繭、果實、織物、紙、釀造品以上九種類に屬する業を營む者又は之に密接の關係を有する業を營む者に限りて同業組合の設置を認可さるゝことゝなれり即ち京城府内に於ては差し當り右の九種類に屬する業務としては精米業、牛肉鷄肉等の肉類販賣商、牛乳搾取販賣業、製絲業、蠶繭絲業、果實販賣商、織物製造販賣業、酒類味噌醬油等各種釀造販賣業者等なるべし、而して右以外の物産及び其の取扱業者に於ても豫め其の筋に經伺の手續を爲し認定を受くることを得る由なるが左記事項は前記九種類たると以外たるとを問はず何れにしても設置願に關して必要なる事項なりと云ふ

一 組合設置を必要とする理由
二 任意に設置したる組合なるときは其の狀況
三 地區内に於ける物産の最近三年間に於ける每年の生産製造又は販賣の數量並に價額、重なる販路及び仕向地別の數量並に價額
四 共同利益の增進を圖らんとするときは其の方法
五 現に弊害あるものは其の事實及び矯正方法
六 重要物産と密接の關係を有する營業者加入するときは其の理由

◎釜山電鐵線路變更

六月一日附工事施行認可

釜山市街の東部なる漁港前より北上停車場前を經て釜山鎭驛に到り同地より輕便鐵道線路を利用して東萊溫泉場に到れる電車線路は一般市民の希望に據り線路豫定を變更して埋築地釜山郵便電信局角より西折大廳町を直行寶水町二丁目角に至り同所より南折して富平町三丁目を經て寶水川口に至る間に此距離七十九鎖に變更の件は豫て其筋に對し工事施行申請中なりしが同變更線路中には郵便局角より大廳町に出づる迄に電車線路法定勾配以上(廿五分ノ一)の急勾配あり之が變更に就き警務部側と府側との意見の相異ありしと更に大廳町に於て線路に當り古松數本ありS字形勾配を爲せるものが危險鮮からざるとの二問ありて久しく研究調査中なりしが此程に至り全部解決著きたるより六月一日附を以て愈々工事認可の指令ありたり竣工期は工事認可の日より百日目なりと云ふ

◎新汽船會社計畫

佐世保の橋本喜造氏は今後其の航業の本據を京城に置く事となり目下總督府に海運業經營を目的とする株式會社の設立認可申請中なるが本合名會社の認可の曉同社は先づ信貴山丸を釜山に置籍し更に某方面に所有する數隻の大小汽船を追々朝鮮に轉籍し引續き牛島を根據とし橫濱上海經由の歐洲航路を營なむ目論見の由なるが將來は歐洲線の繁閑により他に適當の航路を新營すべしと

◎神宮獻金と京城

明治神宮奉贊會の獻金募集は既記の如く京城府に於て數日前各町總代宛其々募金の依賴狀を發したるに何れも奮つて之に贊成の意を表し續々申込あり、と云へば豫定額たる二千圓以上の獻金を見るに至る可く又會社側の八千圓も銀行俱樂部に於て開會したる代表者の打合によりて協定し豫定額以上に達す可しと

◎學校敷地實査

京城學校組合にては豫ての計畫により本年の追加豫算によりて一小學校を新設する事とし決定し其敷地の拂下を總督府に申請中なるが金谷府尹は府及び道務主任と共に府内某々數箇所の豫定地を視察せり同敷地は本月中旬頃迄には決定し直ちに設計に著手す可き筈なりと

◎朴齊純子病氣

中樞院顧問子爵朴齊純氏は四月以來病氣に罹り森安醫學博士の診療を受け自宅に靜養中なるが昨今の經過良好の方なりと尚同子危篤に瀕せし爲め相續財産等に關し近く貴族會議を開かるゝ樣報ずる者あれど右は傳ふる者の誤りならんと

◎坂出課長歸任期

歐米に出張を命ぜられたる總督府工務課長坂出鳴海氏は客月三十一日無事橫濱に上陸せり途中二三の用務を辨じたる上來る十日頃歸任すべしと

◎辭令

一日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府醫院醫官兼京城醫學專門學校教授 吉木彌三
兼任朝鮮總督府中央試驗所技師
敍高等官六等

◎通信傳習生募集

遞信局にては今回通信傳習生三十五名を募集中なるが七箇月にて卒業後各郵便局の電信技術員となるものなり尚傳習中日給三十錢を給する由

平壤

▲警務部長巡閲 平安南道警務部長瀧元二郞氏は一日午前八時より平壤警察署を巡閲したり▲高知視察團來壤 既報の如く高知縣鮮滿視察團は一日安東縣より來壤、山崎庶務主任の案内にて牡丹臺乙密臺等を遊覽し歸途高等普通學校を視察し旅館大同館支店に投宿したるが二日午前一時三十九分平壤發列車にて京城に向へり

元山

▲陸地通關準備 鐵道便に依り元山に出入すべき輸移出入貨物に對する諸稅關手續を取扱ふ目的を以て元山停車場構内に荷扱所設置と共に建設されたる稅關出張所は未だ開始を見るに至らざりしが追々之れが開始期も近づける模樣にて目下着々準備を急ぎ居れり如上陸地通關手續の取扱開始の曉に於ては從來新浦州及び釜山にて取扱ひ來れる一切の手續を同所に移さるゝ事となり元山輸移出入業者側の至便なるは言ふまでもなし▲浦鹽行航路繁盛 内地浦鹽間の航路は不相變盛況を極め居りて下の關及び釜山よりの輸出逐次增加を見るに至りつゝあるが更に最近朝鮮皮革會社軍需品の元山積出を開始するや日本郵船立神丸の遭難あり從つて忽ち朝鮮郵船に影響し同社船は遂に二三航海も元山に掛からぬ積殘しを見るの繁盛を來し居れり▲明治神宮と元山 今回明治神宮奉贊會の組織成立し廣く獻資を募り神宮の外苑を經營し奉るに當り頌德感恩の微意を表すべく際し元山に於ては村地府尹を委員長とし此際一般獻資取纏めの爲之れが募集方法其他の件に就き三十一日午前十時より府廳内に於て委員會を開催し各町總代及び各洞里長を經て各戶に就き同會の趣意の說明をなすと同時に獻金取纏を圖る事に協議の筈▲軍人分會長選擧 元山在鄕軍人分會は前會長二日市貞市氏辭職歸國後會長缺員にて副會長川崎小一郞氏代理となり久しく一切の事務を取扱ひ來れるが二十八日虎島松ケ濱に於ける春季總會の際選擧の結果豫備步兵大尉柴田光一氏會長に當選せり

淸州

▲私有林取締 忠淸北道にては今回道令にて私有林伐採取締規則を發布し七月一日より施行することゝなりたるが該令に依れば二十年未滿の針葉樹十年未滿の濶葉樹及び六尺未滿稚樹の生枝十二尺未滿の全長三分の一以上の生枝十二尺以上の林木にては二分の一以上にある生枝の伐採を嚴禁し尙萌芽力を有する根株の掘採を禁じ之に違背するものは五十圓以下の罰金に處する由にて特別の事情に依り伐採の必要ある時は必ず郡守の許可を受くべきことゝなりたれば從來の濫伐の弊は大に改まるべく森林經營上非常の好果を得るならんと▲傳習所增築 忠北道恩賜授産機業傳習所にては今年度より前年の卒業生十餘名を收容して專ら機織に當らしめ製品及び原料の賣買は便宜當局にて斡旋して得たる利益は全部從業生に交付して一層技術の熟達及び機織の有利なるを知らしめん筈なるが内の狹隘なるより目下增築中なれば遠からず落成すべく遲くも八月初より實行せしめん筈にて既に沃川永同兩郡に産出する陸地棉袋用木綿一萬反の製織依賴を受け居れりと

光州

▲峰農場讓渡 當地峰農場は過般德川家へ讓渡交涉中の處兩者間の條件愈々成立したるが德川家に於ては該農場を基礎として大仕掛の農事經營を行ふ筈なるを以て目下其筋に對して手續中なり▲奉贊會醵金打合 光州郡廳にては廿八日光州舘にて明治神宮奉贊會醵金に就て官民多數の出席を求め種々打合せを爲したり▲濟州鰯漁著手 濟州島に於ける鰯漁は四五年來の不漁にて一般に悲觀し居たるも本年は當局の沖取漁業試驗實施の爲め多少景氣恢復し居たるが五月中旬沖取漁業準備整はざるところより弗々鰮の來游を見たるより漁民は在來の漁法に依り漁獵を開始せし結果今日迄に十一萬六千三百五十斤二千百三十六圓の水揚を見加之小鯖の群を發見し之亦盛に漁業中なるが老漁夫は數十年來の經驗に照し小鯖の群游する年は必ず豐漁なりと稱し景氣頗る恢復し活氣を呈し居れりと▲棉作成績良好 本年は雨の爲め播種遲れたるも其後の天候適度にして發芽は反つて例年より早く、頗る佳良に成育しつゝあり此分ならば播種遲延に依る障害全然無く豐作疑ひなしと道當局者は語れり▲小學校學藝會 光州小學校に於ては六月一日は創立記念日なるより同日生徒の成績品陳列及び學藝會を開きて父兄は勿論一般の參觀を乞ふ

鳥致院

小原道長官は一日來鳥直ちに淸州に赴き同地一泊第一番發自動車にて忠州に向ひ同地にて一泊折返し淸州を經て芙江に歸り鐵路鳥致院下車歸公す可しと▲織居自轉車部 淸州營業所にては此程又一臺の新式車を購入し本日之が試運轉を行ひ中島管理者試乘員に加はり淸州に向へり

大田

▲兩貴族院議員 石渡和田兩貴族院議員は一日正午着列車にて群山より來田直に零時廿五分發急行にて大邱へ出發せり▲天野群山府尹 天野群山府尹は上記石渡和田兩貴族院議員見送りの爲め來田兩氏を見送り直に同日午後一時發列車にて群山に歸任せり▲巡査補教習延期 公州警務部に於て教習中なる巡査補は五月末日を以て終業する筈なりしも都合に依り本月一杯教習延期をなしたりと▲小學校分室增加 當地尋常小學校は入學兒童年々增加するを以て從來の校舍にては狹隘なるを以て本年大東河畔に分教室を建築中にて既に先月末迄に竣成すべき筈なりしも都合上未了の箇所あり遲くも本月中には完成せしめ授業を開始すべき豫定なりと▲組合事務所移轉 當地國有地小作組合は從來金融組合内に事務所を設け佐藤理事監事として事務を執り居たりしが今回大田郡廳内に事務所を移轉し事務は又田中庶務主任庶務を見財務は郡財務主任の手にて處理する事となり一日全部の引繼を了せり

□弘文岩の淸興

尹致昊氏は一日鑛湖プレス社長と無佛本社長とを開城弘文岩の別墅に招待した▲其の別墅は尹氏が十年に近き間心を傾けて經營してゐる丈けに樹其他の雜木生ひ茂り頭しも初夏新綠の候附近の山々とは全く趣を異にし、幽邃閑雅譬へやうもない▲綠陰の間に建つた質朴な洋館と簡素な朝鮮式家屋が即ち氏の別莊である、林間徑が縱橫に通ずる所、尹氏はトルストイ然たる樣子で來客を導びき、天然と人とが一幅畫中の景であつた▲氏は綠り濃たる許りの老檜枝を垂るゝ小池の邊りに椅子や卓子を持ち出し、茶の饗應をした、遠く俗塵を離れた深い木立の中雉子、鳩、時鳥なんどが囀き交はし綠陰を吹き渡る淸風が嫩葉をそよがす邊、主客の興會更に盡きず▲鑛湖無佛氏等は蔬食の馳走に與り閑談時の移るを知らず名殘を惜んで弘文岩を後にした。當日尹氏は氏と多年の關係ある韓英書院長牧師及び澤村邦語教師をも招じて兩氏に紹介し互に快歡を試みたのであつた、此日無佛氏に詩句あり、

綠陰繞家總和宜。恰是薫風南至時。積日塵勞忘却了。心頭復莫世緣羈。

キリストと佛陀語るや青葉かげ

人事消息

▲木尾虎之助氏(辯護士) 數日來病氣引籠中の處三十日歸任す
▲服部正一郎氏(京城郵便局長) 内地に出張中
▲山根武亮氏(陸軍中將) 一日夜入京旭町林田虎雄氏方に投宿
▲石渡敏一氏(貴族院議員) 一日大田より大邱へ
▲和田彥四郎氏(同上) 同上
▲入江海平氏(理財課長) 一日夜着京歸任
▲住友忠輝氏一行八名 二日朝發にて水原へ
▲齋藤實作氏(營林廠長) 二日朝發にて新義州へ歸任
▲張警視(總監部勤務) 二日朝大邱へ
▲高知縣視察團一行二十四名 二日朝平壤より入京原全へ
▲ケフトレール氏(英國領事) 一日夜長崎へ
▲木宿家全氏(新義州商業學校長) 一日夜發東上
▲白井賢夫氏(代議士) 一日夜九時入京朝鮮ホテルへ
▲志岐信太郎氏(實業家) 一日夜大連より歸京一兩日中四週間の豫定にて淸津へ向け出發
▲山形閑氏(憲兵大佐) 三日夜發東上の筈
▲阿部秀太郎氏(平壤銀行支店長) 二日出發南北滿洲及青島方面の經濟狀況視察の爲め出張

謹告

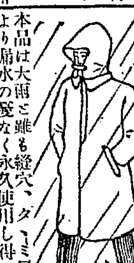
六月三日午後四時龍山瑞龍寺に於て故朝鮮通信社長友枝英三郎氏一週年追悼會を擧行致候間御參會被成下度此段生前辱知諸彦に謹告候也

追而御出席の有無二日までに御通知被下度候尚會費金五拾錢當日御持參の事

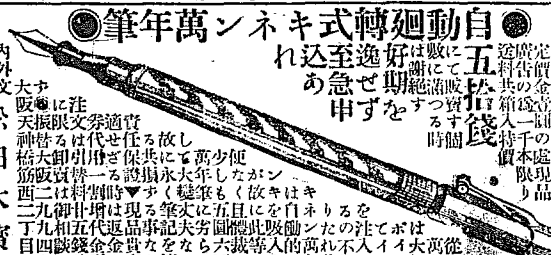
大正五年六月一日

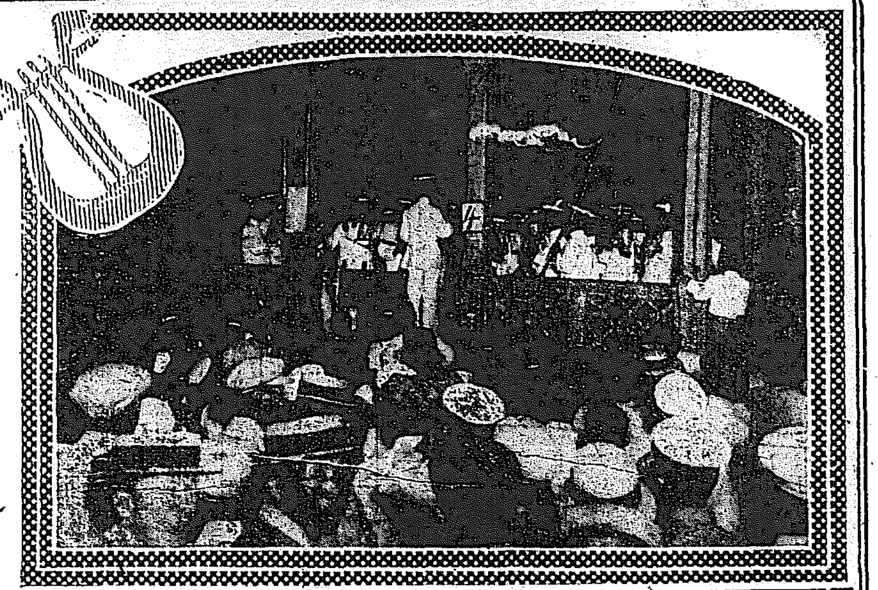
發起者 京城日報社 朝鮮新聞社 日本電報通信社 京城通信社

埼玉縣人 榎本彌三郎 丈高き方 卅歲前後
右雇入中不都合有之行衛不明同人現居所御承知の方は御通知に預り度相應謝儀可仕此段以廣告及御依賴候
東京淺草區駒形電停前 布施商會


專賣特許 バーマネット防水雨具
本品は大雨と雖も縫穴、タヽミ目等より漏水の憂なく永久使用し得る完全なる防水雨具にして且安價實用的なり
▲御申込次第說明書進呈仕候
西部一手販賣所 大阪西區九條通一丁目
ラシヤ絹布 高等仕入服 淺黄減工服 其他裁縫品 卸商 吉城洋服店

指環及時計
仁川本町 系岐商店
電話三七〇番・振替京城七一


◎自動廻轉式キネン萬年筆◎
五拾錢
好期を逸せず至急申込あれ
內外文具御卸商 大阪 松田大寶堂



パコダの音樂堂 ―一日の夜―

●遊覽園 は平壌の名所を何うして見物するか

浮碧樓の下に樓門がある、他の城門の如くに樓上扁額も無ければ、名稱も無いので土地の人さへその門の名を知らぬさうだ、その門の直ぐ下の牡丹臺派出所に詰めてる菊池巡査のいふところによると此の門の名は天狗門といふのださうな

◇浮碧樓は今を距る◆一千年前の建築で◇

◇永明寺南軒興上人◆の創設した平壌屈指の古建築物なのである浮碧樓の由來は八百年前高麗王が此處に遊んで群臣と共に盛宴を張つたとき侍從の李顔をして命名せしめたものだといふ、箕城八景を賦した中に「樓倚錦繡山○面俯浿江水○浮影碧波中○朱欄落鏡裏」といふ詩がある。いゝ名ではないか浮碧樓、その上に立つて江を望めば溶々たる碧波樓下を洗つてその昔、酒が自然に湧き出たといふ酒巖、その後ろの大城山さては平壌水道水源地のある綾羅島清流壁、日清戰役戰病歿者の忠魂碑のある船橋里、大同門、練光亭、乙密臺等が殆んど指顧の間に見ゐる

◆樓の中には天井と◇

◇言はず梁と言はず◆

◆此處に遊んだ人の◇

姓名、所感などが記してある、京城の書家及び『江山如畫』と書した額だの、現に平壌七星門下に閑居してゐる同地隨一の富豪張子敬氏の兄君で目下郡守を勤めてゐる張沐商氏がまだ書生と言つた七歳の時書いて上げた『第一江山』の樓額などが眼を惹く。呼び捨てにして廢いといふ者でもないが百四五十人位の人が腰を下ろして興を醫ぎするやうな事はない、浮碧樓の後には娘子の朝鮮で有名になつたお牧の茶屋がある。此のお牧の茶屋も牡丹臺には無くて叶はぬ名所の一になつて『娘子さんの朝鮮に出てゐるお牧さんはあなたですか』などと訪ねてくる人が日に必らず三人や五人はある。此處には種々な土産物もあれば、料理も一通りは揃ふ。お牧の茶屋の直ぐ隣りに永明寺といふ禪寺がある、高句麗廣開王二年に建立されたもので平安道各寺の大本山だつたさうだ。

◇現存する堂宇の外◆

◆伽藍殿堂甍を並べ◇

◇丹碧の色匂やかな◆

ものがあつたが日清戰爭の時、兵燹に罹つて燒かれてしまつた、今の住持は美龍船と言ひ、寺僧の數も僅かに三人に過ぎず、その質素なる事乖麗なりし昔の面影は何處にもない。此處の本堂の前に一基の石燈籠がある、その燈籠の中に据ゑられた石を三遍廻すと受胎するといふ傳説がある、その孕み石とも謂ふべき石は却々重いやうである。寺の門前を下に半丁ばかり降りてゆくと麒麟窟といふ石で築いた洞穴がある、昔東明王が麒麟に乘つて通つたとも言ひ、北城を建設する際之れを發掘したとも謂はれてゐる、蝋燭を點して洞内に這入つて見たが六七間先きまでは

◆體を屈めて膝行す◇

◇れば進む事ができ◆

◆るが途中に落下し◇

た石に遮ぎられてそれ以上奥に入る事は出來ない、中には階段あり、平臺あり、或は祭壇形のがあつて府由多く七八丁先きなる乘明寺に通ずるさうである、又永明寺前から牡丹臺に登る所に長房館といふがあるその前を通つて今を盛りと咲き揃ふアカシヤの花のトンネルから送つてくる咽せ返へるやうな芳香に夢心地になりながら卜字形の緩い坂を上り詰めると二間四方の正方形の露臺がある、之れが牡丹臺である只渡す所一眸千里、遠く大同江の[illegible]相鮮原の米畑から、萬景臺、碧瀾江等の外に眼下には松、欅、楡、アカシヤその他の緑一の樹々の[illegible]絶えず聞えてくる鼓聲[illegible]さてはそれも知れぬ小鳥の囀りに耳を澄ませてゐると身は宛ら仙境にあるの思ひが湧く。牡丹臺は乙密臺と共に錦繡山の一角にあり日清役の當時吾軍の此處を砲兵陣地としたるを以て有名である。

◆牡丹臺の下の玄武◇

◇門は原田重吉と共◆

◆に日清戰爭を背景◇

として知れたものである、今は門上の樓閣もなく頽廢して舊影を止めない、高さ二間足らずの穹窿形の小門で雜草門上を覆ふてゐるが門の内側の石の面は此處を訪ねた人の署名、詩歌で黒くなつてゐる。『大日本天下無敵神刀流劍道開祖日比野正吉』『大風三浪界の覇王東洋軒雷右衞門』『大阪角力浮舟正平太刀川春吉』『天下之浪人定永新吉』曰く何、曰く惡筆名筆によつて古戰場に接した瞬間の感動が存してゐる。原田重吉が肩梯子によつて躍り超ゑたとは牡丹臺から向つて左の方だと日清戰爭に從軍した菊池巡査の話である、日清兩軍が對戰した牡丹臺と乙密臺を左右五丁足らずの所に見て玄武門上我軍の苦戰のあとを偲ぶのも面白い事であるまいか(つゞく)

●懸案なりし硬式飛行船 近く實物大の模型を作る

臨時軍用氣球研究會にては從來の多の經驗と歐洲に於ける實戰の成績とに鑑み多年の懸案なりし硬式飛行船を建造する事に決定したり未だ經費の關係上竣成の期限確定せざるも第一着手として所澤飛行場に於て近く實物大の模型を木板を材料として製作する事となり目下岩本技師が熱心に其の設計圖を製作中也(東京)

●日本軍を讃嘆す 青島攻略に參加せるバーナーヂストン少將の報告發表

英國陸軍省は青島攻略に參加せるバーナーヂストン少將の報告を發表せり右報告中バ少將は日本軍の動作を讃嘆し殊に其の砲兵隊の優良なるを賞美し其の行動の善良無比なる事實に驚くに堪へたり其の砲火の的確なりし事が正しく敵の降伏を餘儀なくせしめたる主因なりし事毫も疑を容れずと(東京特電)

●濟生會病院開院式 伏見宮優渥なる令旨を賜ふ

曾て先帝陛下の渥き聖旨によつて御下賜遊されたる恩賜金に官吏及び一般有志家の寄附金を添へたる一千二百四十三萬七千六百圓を以て施藥救療を目的とする濟生會病院は芝赤羽元海軍工廠跡に建てられ愈々工事其他の

▲諸設備成りて 卅日午後二時から開院式が開かれた來會者一千餘名にして村松海軍少將、大村伯、澁澤男、花房子、一木内相、水野鍊太郎、波多野宮相、石原次官、石黒男、徳川公、加藤(泰)子、清棲伯、西久保警視總監、豊川良平、淺野總一郎、土方伯等順次に來り會し二時三十分から庭の天幕内の式場に於て式を始め徳川會長の開會の辭、大谷幹事長の病院建築經過報告あり『君が代』の奏樂裡に伏見總裁宮殿下の台臨あり優渥なる令旨を賜ひ徳川會長恭しく之に奉答し終つて

▲宮殿下御退場 の後來賓總代より澁澤男の祝辭あり最後に北里同病院長の挨拶あつて式を閉ぢ一同茶菓を喫して五時退散した新成の病院は診察室、事務室、病室、手術室、炊事場、機關室、看護婦寄宿舍、藥品庫等二千四百七十一坪の大建物で内科小兒科外科産科婦人科皮膚科泌尿科耳鼻咽喉科等に於ける諸設備の完全なる事は殆んど大學病院と選ぶ所なく患者は二百名を一時に收容し得べく區役所又は警察署の身元證明を受けた者は六月一日から何時でも無料診察施療を受くる事が出來る筈である(東京)

●死靈に取憑れて惡事を口走る

京畿道廣州郡中部面巨餘里兩班金一所(三)同郡東部面新長里金英根事金英斤當(三)の兩名は他の二名と共に六年前銃器棍棒等を携へ東部面下山谷里、新長里、船里等數個所にて強盗を働きたる事あり兩名は去る四十四年十一月中東部面船里の金某(當時三十歳)が彼等の惡事を知れるを看取し同人を殺害する事に決し或夜同人方に闖入し藁繩を以て絞め揚げ巨石を結び附けて新長里附近の溜池に投入して殺害し素知らぬ風を裝ひ居たるも遂に或者に惡事を口走りたるため此程に至り廣州憲兵分遣所の憲兵補助員が罪状を探知して各居宅に踏込みて逮捕し目下嚴重取調中

●京龍庭球試合 四日の午前九時より龍山鐵道コートにて

嫌な雨の季節の到來前に於て庭球界の覇を稱し合うてゐる龍山鐵道青年會庭球部と京城庭球倶樂部との試合の事が一決した四日の日曜午前九時から龍山鐵道官舍構內(電車停留所西入る)の選手コートで。龍山の鐵道隊は數年來京龍庭球界で覇を稱したのみならず或は仁川、大邱、釜山等に出張して勝を制し昨夏は安東縣迄遠征して滿鐵軍を破つた例もあり旭日昇天の勢で正に常勝軍の觀があつた之に對抗すべく新に組織された京城庭球倶樂部はまだ内容は未知數だが今迄の群雄割據時代より遥に勢力集注され正に近來の見物であるに違ひない而して其戰鬪規約は三回グームで春季一回秋季二回で決を採り毎年繰返さうと云ふので今回のものは其の一回戰なのである

◇パコダ公園の夜 李王職音樂隊演奏

□しつとりと露をふくんだやはらかな夕風にそよぐ白楊樹の葉ずれの音が、初夏のよべの輕い情調をもとむる人たちの群れに懷かしまるゝ一日の午後八時から例年の如くパコダ公園で李王職音樂隊の演奏が始まつた。

□すんなりと延びた白楊樹の際のベンチに園内を照らす白熱燈の眩しい光りを避けながら、曲毎にちがつた旋律のたわなる音調にうつとりと聽きとれてゐる人に朝鮮人、内地人、西洋人等があつて、始めての夜としては可なり多かつた。

□日本の陸軍分列式の行進曲、長唄の越後獅子、ワルツ曲の夕ンエロ、端唄春雨、劇曲蝙蝠、序曲饗宴外四五曲あつたが、此の内蝙蝠、饗宴同じく序曲のマリタナ、孤學生などを最も面白く聽いた。ボルカ曲の騷客の快活も賑かであつた。

□樂器が古いせいか、又は指揮てもゐるせいか、時々高調するに隨つて、錆をもつた不快な雜音を立てるのが耳障りだつたが、樂手には些しの亂れも無かつた。最後の君が代曲を奏する時内地人で脫帽する人の無かつたのは不思議に思はれた。

●支那見物 袁總統を知らぬ劉濟光將軍 衆議院議員 清養太郎氏談

段々話してゐる内に將軍は袁總統を知らぬといつた、其れは不思議だ貴下は嘗て袁總統の非常な腹心だつたと聞いたがといふと、劉濟光は其

▽獰猛無比な面に 物凄い微笑を湛へて「イヤ俺はちつとも袁を知らぬ、未だ一度も會つた事が無い」といふ、何しろ時が時だから知らばくれて居るのだらうと思つて歸つて領事に話すと、劉は實際袁を知らぬ樣だといふた、之れだから支那の事はチツトも判らない、廣東の將軍にして而かも一度は其腹心だと目された劉濟光が袁總統と會つたことが無い杯とは實に奇妙頂來である、處で劉濟光は前にも云つた通り事實上

▽南軍の捕虜だが 北軍はまた黎元洪を捕虜として監視嚴酷を極めて居る、黎氏が外出の際には必ず其筋から差し向けた自動車に乘るので萬一他の車にでも乘らうものなら忽ち銃殺されることになつてゐる、黎の手兵は八十名許あるが、之れは邸の内外を護衞してゐるのみで、其れ以外には何物をも許されてない。以上は支那を歩いた氣分丈けをお話した次第だが、さらば

▽支那の前途は如何 なるかといふと其れは全く以て不明である、之れを解くものは神に非ずんば、支那人の根性になり、支那人の頭になつても支那の形勢を達觀することの出來る人で無くては駄目だ、日本人は袁總統の一派が排日で革命黨は親日の樣に思つてゐるが、支那人は矢張り支那人である何時までもそんな事を正直に考へてゐると飛んだ目に遇はなくてはならなくなる、自分は之れから少し彼等の排外思想に就いてお話致し度いと思ふ

●圖太い按摩 山口縣玖珂郡柳井町生れ按摩業中村清太郎(三)は五月一日頃より平壌に流れ込み驛前の松家と云ふ宿屋に泊込み居りしも一向客がなきより隣りの旅館から尺八を借受け賑町を流し歩き居る中同月八日宿料を踏倒し尺八を横領して逃走したるも黑橋驛にて逮捕さる

●眠られて墮胎 慶南大新洞居住の鑛夫鐵の妻李姑女(二)は妊娠子宮出血し遂に墮胎するに至りたるより其筋にては目下加害者嚴捜中

平壌遊覽會

設備

新緑の柳京! 古戰場の平壌! 六月四日の日曜日を卜し我社の主催で形勝の牡丹臺附近一帶を遊覽地として晝間は素人相撲、日鮮藝妓手踊等の餘興澤山。夜間は平壌名物の觀火會及び數十番の仕掛花火、打揚花火。翌五日は舊五のお節句にて朝鮮側では婿選び嫁選びの黄道吉日一年に一度の大賑合です

特典

◆◇六月三日(土曜)午後十一時南大門驛發
◆◇往復汽車賃三圓五十錢(仁川四圓)

朝鮮鐵道局では我社今回の計畫に贊同せられ、特に最も低廉なる賃金にて三日より六日迄の使用期限ある往復切符を發賣し往途は臨時列車、歸りは期間內勝手に列車の撰擇を許されました然うして切符は六月一日から南大門、龍山、仁川の三驛から發賣され五枚以上は電話(南大門驛)で御申込あれば直に配達します

臨時列車運轉

演藝案内

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七
大然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 六月一日より素敵の大寫眞 ○實寫マツクスの醉興 ○滑稽カツポーイ丸一派 ●新派悲劇うきよ鏡 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番
●泰西探偵劇ゴールデンハイナ [illegible] ●お馴の浪界小鐵京山恭爲、桃中軒如雲合同大一座今回朝鮮巡業の最終告別興行として再び當館に現る!
今晩の讀物 △二人探偵(悪之助)△湖田主水(如月)△野川五郎藏(雲照)△水戸黄門記(兎月)△金鵄勳章探偵苦心談(長講)二席京山恭爲 △勤王美談隱岐狐島(桃中軒如雲)
●入場料は破天荒勉強なき亦とこんな値段で聞けぬ [illegible]

●未曾有の大入 初日午後七時には立錐の餘地なし
●京城にて封切大寫眞
▲史劇 眞田大助
前編後編全十卷續き二百七十八場 忠臣藏以上の大寫眞
大正館

御成座 御成町 電話二九一
東土產木朝綱五郎 源平魁躑躅 前狂言 切狂言 二場
市川海老松阪東龜鶴一座
御早來願上候

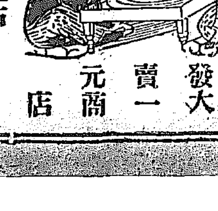
大正館 櫻井町 電話八七三
六月一日より特別大興行 ○實寫歐洲戰爭 [illegible] ●探偵大活劇黑冠組 全三卷六千尺 [illegible] ◎史劇眞田大助漫遊記 [illegible]

壽座 本町 電話五七八
六月三日晝間 [illegible]

●水がたまつて苦しむ人に
●肋膜炎を病む方に
水がたまらなく苦しむ人は淡ロクマクエンにて永らく病む人は淡汁がたまり呼吸をすると胸が痛む咳が出る動くと呼吸が困難になると云ふ隨分難儀な病氣である此の病を速く治して丈夫になりませぬと人々の最も恐れて居ります肺病に成り易いのですが未だ此の病氣に良く効く良藥がありません東京府大森新井宿中江藥療院ハガキにて御照會あれば是迄實地服藥の上最もヨク効く藥の自宅治療書を同病に惱む方に無代差上げますから御遠慮なく申越下さい

—Family Hotel.—
本館は市の中央にあり土地高層、庭内廣く閑靜にして宿泊及び宴會には最も好適す
佛國式料理 宿泊 宴會
京城南大門通三丁目 東洋拓殖會社前
ファミリーホテル (舊ダンタクホテル改)
館主 ミセス、ボーエル 電話一二一八番

闘球盤
代理開始
何人にも快活で面白い高尚の遊戯はコレ



朝鮮代理店 京城本町二丁目 シノサキ商店 電話三〇三〇番
定價表は御申越次第贈呈す
發賣元 東京 大一商店

浴衣地大賣出し
六月一日より五日間
流行品豊富に取揃居候其他見切品澤山
京城本町 丸吳服店 電 六三五 一〇九一

天氣 くもり 曇り 六月三日

足を上げて姫松の腹部を力任せに蹴飛ばして逃走せり姉姫は是が爲めに

◉今日此頃の 魚市場

▽たいさばすときあぢ▽が盛んになりました

□昨今の鮮魚は先づ鯛、鰆、鰻、鯖の類が盛漁期となりました

□鯛は釜山ものならば一年中四季を通じて市場に現ますが昨今では先づ仁川、群山が主となり元山鯛はどうしたものか餘程漁期が遅れました

□目下元山から來るのは主に小ものが多くかながしら、いゝゝ、さより、ひらその類が參ります

□鯛は京城の料理屋向きの仁川鯛が十貫匁目下十七八圓、群山十四五圓元山十二三圓の割となり

□鰆は十貫匁六七圓、元山もので一尾十錢、釜山もので八九錢のところですが總じて元山ものは大きいやうです

□元山の鯖は鐵道便の惡いため遺憾ながら釜山、群山のそれに壓されます、彼地では主に鹽鯖とするやうです

□近來また藻鯛の漁が盛んとなり群山あたりの西海岸では澤山漁れるやうになりました（京城魚市場談）

◉南山の松樹が □だん／＼枯れて行く□

▽近頃南山の松が枯れるといふ噂を多く聴きます、現にむかしから京城に居られた人のおはなしにも南山の翠緑がだん／＼禿げて來るといふおはなしです

▽原因は例のまつけむしかとも思はれますが中には故意に幹の根元を刃物で横に切りその枯れるのを待つて枯枝の拂下げをうけようとする鮮人もあるとのことです

▽美しい、青い、涼しさうな南山の松の樹、これを皆んなで可愛がり育てたいものと思ひます

◉山形大佐令孃婚儀 警務

總監部高等警察課長山形憲兵大佐の長女多可悦子さんは這回御婚約が成り來る十日東京に於て華燭の典を擧げられる事となりました、新郎は目下陸軍大學在學中の秀才です、大佐は此のうれしい式にのぞまれる爲め三日午後七時五十分南大門發の列車で東上され二十二日の夜歸京のはずです

□お散歩

此頃はお散歩がよろしうございます、日中でもあまりおあつくなく、パラソル一本お持ちになれば良總に、南山でも漢忠道でも東大門外でも漢江でも牛山のお散歩が出來ます東大門外には朝鮮の田植が始つて居ります、漢江の眺めもこれからでありますし奬忠壇には白い野薔薇が好い香に咲いて居ります

◉南大門小學夜學會 六月一日から新設した夜學校は目下入學生徒六名、先生も生徒も非常に熱心にやつて居ますから近く大發展すると思ひます

◉南大門小學齲齒檢査 南大門小學校にては三日五日の兩日全校生徒の齲齒檢査をいたします

自動車はだん／＼廉くなる □□米國の會社では五分間に一臺作る□□

◇京城でも近來は自動車が多くなつて總督閣下の自動車や李王家の自動車から松永道長官、朝鮮貴族所有のものを合せるとだいぶ澤山の數に上ります

◇營業用では長谷川町の米國人テーラー氏の三臺と南大門通李商店の二臺と黄金町李容汝氏の三臺と都合八臺の自動車が驗つて居ます

◇併し現今歐米では自動車の自動屋の職工までが廢物の自動車を修繕して通勤用に用ゐ朝夕女房に把手を執らせて送り迎へをやらせるといふ有樣、朝鮮などでも今後益々發達すると思ひます

◇併し日本や朝鮮で自動車が一般贅澤品視せられるのは洵に無理からぬ次第であつて何分にも獨逸や佛蘭西伊太利、英國製のものになると一臺一萬圓内外も要する譯で詰り價格があまり不廉過ぎるからでありませう

◇現今日本内地や朝鮮で用ゐられるのは主として米國のフオード製でありますがそれも本場の米國では一臺四百弗（八百圓）内外のものが日本へ來ると一躍二千圓といふ高價を呼ぶとになつて居ます

◇尤も日本に輸入する時には元價四百弗の三割五分の關税を初め運賃諸掛りが約五割以上かゝるので横濱著の一臺千二百圓、商人の口錢一臺八百圓は決して不廉でないかも知れませぬがそれでも少しボロ過ぎるやうです

◇今年米國では一臺の平均價格が千六百弗で四箇年以前の一臺二千五百八弗から見ると非常に廉くなりました

◇尤もフオード會社の如きは五分間毎に一臺宛の製造力を有し廣く世界に賣り出して居ますが日本ではなか／＼廉くは出來ませぬ

◇先達て大阪の島津製作所で作つた豆自動車は二人乘りで一臺七百圓で出來ましたから追々日本でも廉く出來ませう

婦人界消息

◉高橋大邱高普校長 大邱公立高等普通學校長高橋亨氏は一日夜入京されました

◉裏千家鷲山教授 京都裏千家家元の名譽教授なる鷲山宗雨氏は三日午前八時五十分南大門着の列車で入京約一箇月ばかり滯在のはづ尚滯留中はいろ／＼の點話會が開かれる由御用の方は本町二丁目寄々園にお訊ねありたしと

▲三好しづ子孃（三好唯吉氏令孃） このごろ御病氣にて臥つてゐられます

▲森川はる子夫人（本町實業家） 京城婦人病院にて大手術をうけられましたところ其の後の經過良ろしく近く退院のはず

▲金男爵夫人（朝鮮貴族） 久しく京城婦人病院入院中のところ漸次快方に赴かれました

▲坂出夫人（坂出鳴海氏夫人） 歐洲より歸任の良人をお迎へのため五月上旬より上京中のところ來る七月上旬歸京なさいます

▲吉田領事夫人（安東縣領事） 令孃と共に近く東京に歸省のはづ

—△會いろ／＼▽—

○鯉のはなし會 淑明女學校にては二日午後一時より田中半次郎氏の鯉に關するおはなしがありました

○中學テニス會 三日の午後から小學校の校庭に於て開かれます

○中學の相撲會 一日の午後から校庭内の土俵で大阪はひ工業傳習所からも浮山の見物がありました

○小學校教員協議會 三日（土曜日）の午後一時半から府内各小學校の四學年擔任の各先生は龍山元町小學校にて數段以上の打合せをなし開かれます

○南大門小學同窓會 三日（月曜日）午女生徒の同窓會があります當日はいろ／＼な餘興もあります申込者は一日までに二百五十名

○友枝氏追悼會 三日午後四時より龍山福寺にて催ふされます

○基督教青年會 三日午後七時より會員懇親會を開き會計總務報告餘興等あり

たいどころ その日／＼

◉鯖の黄味酢かけ 鯖を三枚におろしつよき鹽をなし小板をのせ壓しをなし置き凡そ三十分計りの後水洗ひし布巾にて水氣を去り鉢にいれ酢をかけおくまた二十分ばかり過ぎたる時魚の身をくづさぬ様に皮を去り（肩の處より尾の方にむけてはがす）刺身につくり適宜に皿に盛り黄味酢をその傍に盛り茗荷の鹽切を少々そへて出す黄味酢は味淋一杯に砂糖一杯の割合にて混ぜ合せ火にかけ沸騰したるのち鍋をおろし少々冷めたる處へ葛を水にとき少々入れ再び火にかけてよくまぜ汁がどろ／＼になりたるとき玉子の黄味をいれてよくまぜ玉子が半熟になりたるとき裏ごしにかけ酢を少々加へて味をつけ魚の傍に盛る

番茶のあとこ

▲近頃京城の在留西洋人の家庭では時々日本式のすき焼鍋が流行ります▲これは日本人と交際する主人が宅に歸つて『すきやき趣味』を奥さんにすゝめるので一種の流行となつたものと見ゐます……とはソウルプレスの山縣先生のおはなし▲それ等の關係でありませうよく江戸川で五六人連れの西洋人が『かしわのすきやき』を喰べて居るのを見受けます

商況

東京株式特電

二日前場寄付 大引 [illegible]

債券現物特電 （前日との比較）

[illegible]

公債直取引 （前日との比較）

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

朝鮮物産特電

[illegible]

雜報

◉製粉新物値段 [illegible]

◉洋鐵更に不味 七圓一杯 [illegible]

◉俏幾段の下落 底値に近し [illegible]

◉片栗粉の近況 [illegible]

行賀仲買店 仁川 電話 [illegible]

◉綿布小戻り 二錢五厘高 依然頭重 [illegible]

◉砂糖漸次手堅し [illegible]

◉精米ヂリ安 十二圓八十錢普通 [illegible]

◉製茶は持合狀態 [illegible]

◉原鹽は良好 [illegible]

下關相場

[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

釜山穀物市場 一日

[illegible]

仁川期米

▲二日前場 七錢高の入電に七十五錢の移り 五十三錢 十一錢と新高値に沸騰 前七十一錢と安移り 徐々に六 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 まるにち 仲買店 支配人 土居勝 電話二八二番 二八三番

確實 迅速 仁川米豆取引所仲買人 廣澤正太郎 電話 [illegible]

市場零聞

▲更に新高直 ▲中限の作戰上賣り 叩き頭間 折柄 ▲中限の激戰 騰心機一轉四十 五十三錢と沸 叩き賣り四十八錢と返す ▲結局保合ひ 依然強硬 [illegible]

田中金兵衛 電話 [illegible]

▲強氣の期正米談 當米も全部渡し盡 六月限の手 當月限の渡し米蒐集 問題の買方の態度 影響 高人氣 正米相場 期米に 米價の大勢轉換 [illegible]

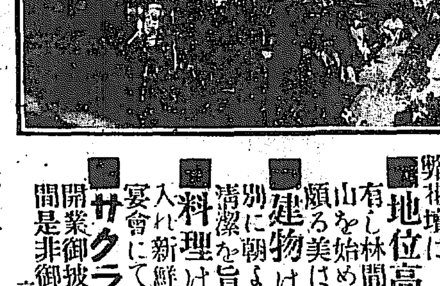
仁川米豆取引所 二日の八月限

前場	
寄付	十一圓五十四錢
止め	十一圓五十四錢
高値	十一圓六十一錢
安値	十一圓五十三錢
出來高	二萬六千四百石
平均値段 一節	十一圓五十九錢
二節	十一圓五十九錢
三節	十一圓五十七錢
四節	十一圓五十五錢
五節	十一圓五十四錢

賣買取組高

六月限	四千六百石
七月限	三萬八千四百五十石
八月限	九千四百石

一日後場 前日と較北 [illegible]



京城花壇 庭園の一部

◇開業御披露

拜啓愈々新緑の候四方の御客樣益々御健祥の段奉賀候扨而今般左記の處に新築開業仕候處弊花壇は

■地位高燥 綠樹茂れる廣大なる庭園を有し林間點々たる新築數軒の客室よりは南山を始め四圍の山々指呼の間にありて風光頗る美はしく

■建物は 全部六棟とも新築にして且つ別に朝より不絶風呂の設備あり食器は最も清潔を旨とし

■料理は 東京一流老練の板場數名を雇入れ新鮮なる材料を選び一品料理は勿論大宴會にても迅速且つ御安値に御調進致し殊に

■サクラ生ビール の風味芳烈なるを開業御披露として來る四日迄半額と致し候間是非御來車の上御試食を賜り度奉懇願候

六月一日 京城本町五丁目（電話三三八番） 京城花壇 末尾主人 敬白

南滿洲鐵道株式會社

撫順炭

特約販賣所

京城南大門通一丁目（電話九二〇番） 西村商會

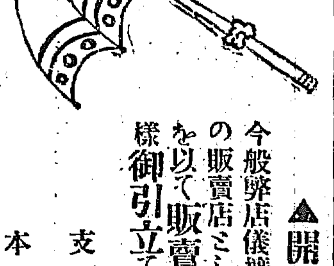
元山代理店 元山旭町 小泉商店 電話四五一番

京城南大門通一丁目 （か） 三國商會 電話（長）九〇〇番 振替京城一二〇六 西大門貯炭場 電話一八〇九番

平壤代理店 平壤本町 平松商店 電話（長）一六二番

各代理商店

開城大和町	岡本商店	公州旭町 高瀨卯作
水原驛前	坂手重三郎	裡里榮町 土車仁作
同 城内	中島政吉	全州 同商店
平澤驛前	石川耐藏	江景中町 林龜助
鳥致院驛前	朝鮮産業商會	鐵原 小宮山八郎
清州	同商會	忠州 日榮商會



▲開店廣告

今般弊店儀擴張の爲め左記の處に洋傘專門の販賣店として洋傘のみ分店致し特別廉價を以て販賣仕る可く候間相變らず本店同樣御引立ての程奉希候

支店 京城本町壹丁目本店より五軒目西 まからんや

本店 京城本町壹丁目（電話四七番） まからんや

先月廿七日より臨時運航貨物便として金文諾方より上等衣類一枚（十二圓）を一時貸りて即日觀水洞の質屋に

宮本武藏

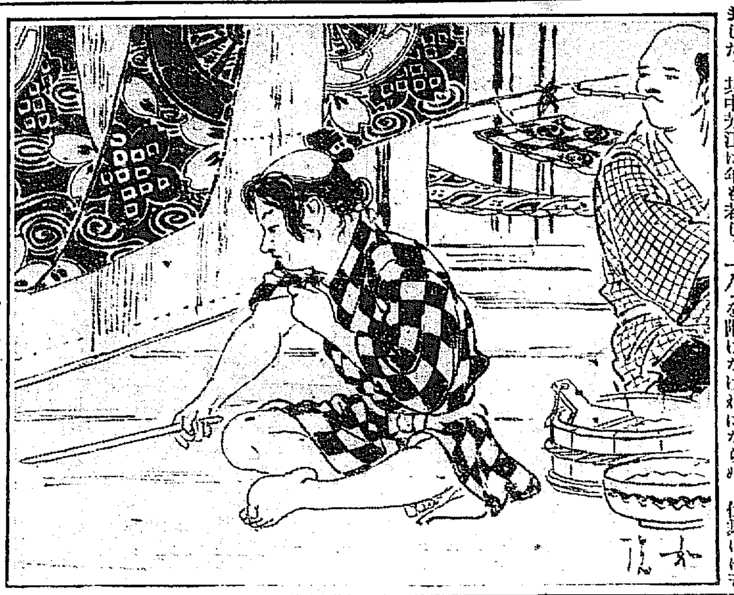
第五十七回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

さて吉岡治太夫拳房は不幸にして大内に於て最期を遂げましたが、妻子も知れゝば重刑は免れない、そこで妻の芳江は七歳になる又三郎を連れて京都を立退き、泉州堺の紺屋利右衛門、之は兄でございますから此處へ尋ねて來て一伍一什の話しをいたしました、利右衛門大ひに驚ろきましたが何しろ妹の來た事が知れては大變だ、そこで河内の若江といふ所に元使つて居た男で善兵衛といふ正直な男が居るから此所へ預けて置きました、其中芳江は年も若し、一人で置いて若し吉岡の妻だといふ事が知れると大變だから兄の利右衛門が大阪の米問屋へ再縁させました、又三郎は七歳になつて居るから家へ引取つて治右衛門の子にして育てる、其内又三郎が十三になつたから利右衛門が　利『又三郎やお前もいつまで遊んで居ても仕方がないから仕事を覺ねなくちやアいけない、家の稼業だから型付を覺ねなさい』といつて型付を教へました、當今でも上州桐生、或は足利邊へ參りますと職人のザレ歌に

　華曼二ッ割島津がなけりや
　　わしもなります型附に

島津小紋と云ふのは至つて六ケしい今でも兼房小紋と云ふのが殘つて居ります、其れは此の兼房といふ人が發案だといふが爾うかも知れません此の又三郎が十三四になりますと、立派な職人の向ふへ廻る型付をする所が、此人質父の氣象を承たものか至つて癇癪が強い蠅が糊を舐に來る毎に一々取つて打棄るのだが、平手に取ると型を崩して仕舞はなければならないから、崩さぬやうに蠅を捻り潰して棄てまするのだが滑稽々々のことであるから　又『是は蠅が型の上へ留らん裡に此箆で潰して仕舞へば型も崩さんで宜いと云つてビシリとやる、蠅は首尾よく潰すか型を崩すからスッカリ洗つて、新規に又型を附けなければならぬ、仕舞には五月蠅ので仕事が出來ないから竹箆を打棄つて奥へ行つて寢て仕舞ひ、チリ〳〵して居るから○『又さんが例もの癇を起した、誰も側へ往かない、咬附かれると往けねへから打棄つて置け』二三日經つと又出て來て仕事をして居る、其所は小兒だから考へた　又『是は糊に蠅が留らん裡に殺して仕舞う』ブーンと飛んで參るとビシーリと打落す、ブーン、ビシリ　又『是なら一向障らんで宜い』又ソロ〳〵板の上を這つて來る奴は蠅の首を切つてやらうビシリ蠅の首が切れる　又『イヤ面白い、又羽根を切らうと思つてやると羽根が切れる、端他の者が是を見て不思議に思つて居る、丁度又三郎が十五の時、京都の名物北山時雨―北山に黑い雲が出ると直ぐバラ〳〵雨が降つて來る彼の雨天と云ふ傘は京都で出來たもの、日傘が直ぐに雨傘になる○『サア〳〵時雨だ〳〵』といふ裡にサーッと降つて來た、サア乾物稼業の紺屋だから大勢ドン〳〵乾物を取込む全然で火事場のやうな騷ぎをして片付けて居る裡に、子僧さんが二人で藍瓶を接廻す棒を攫んで　甲『俺が此棒は旦那に貰つたんだ　乙『ナニ俺が又さんに貰つたんだ』と頻りに爭つて居る、其所へ又三郎が飛んで來て　又『コレ何をして居る』と突然竹箆で彼の棒の眞ン中をスポンと打つ、アッと云ふと二人は棒を持つて後ろへ打倒れた　又『何をして居るのだ、此の雨の中で　甲『オヤ又さん棒が切れた　又『然うか』と云つて取上げて見ると刀劍で斬つたやうにスッパリ切れたから　又『ウム、是は不思議だ』是を旦父の利右衛門が見て感心をして又三郎を別間へ呼んで　利『時に又三郎や、お前も覺ゐて居るだらうがお前のお父さんは吉岡治太夫といふ八重流の劍術の名人、浦邊藤藏といふ者に遺恨があつて三月三日大内の難合せの時、禁中で浦邊を殺し、板行の家來村雨八右衛門といふ人の爲に討たれた、吉岡の子だといふ事が知れると大變だから俺の子にして今迄育つたがお前が若しお父さんの跡を繼いで武藝を習つて一人前の劍客者になりたいといふなら俺がさしてやるがどうだ』といつて聞きました



書畫用 絖畫絹　京染呉服商 たまや出張店　京城永樂町 電話二一九六番

西洋料理アイスクリム、ハイカラ丼　おいしい事京城第一との高評を博し居り候　南大門通 電話二五七一番　カフエータイガー

京城南大門通三丁目(鐘木商店横入る)　入院隨意　胃腸病院　電話一六五九番　院主 佐々木杏造

六月四日九星　舊五月四日　壬申　本命一白　北　平　友引

▲一白● 冠履新調の事有且新事見合 四方は吉 剣北▲二黑● 役にたゝぬ事多き日新事手控 萬事は吉紹介調印等を禁ず▲三碧● 巧妙なる日轉居入學金談名弘求 轉棟上婚禮美術金融 本命皆吉▲四綠● 清美の日轉居旅行入學 名弘出 適求 職婚禮水産樂器皆吉▲五黃● 怪數事有る日 新事手控萬事は吉物に用心せらるべし▲六白● 卓絶なる日轉居入學婚皆吉女子の聚會により立身を得す大有望の日也▲七赤● 大儲有日轉居 行 商入學名弘金談探險嫁娶入學皆吉物に勝の日▲八白● 口に喰はぬ事多き日新事手控萬事は吉 御散財なき防がるべし▲九紫● 一寸離を要する日新事手控萬事は吉小兒衛生水難注意

露國大本營クロパトキン將軍原著日高良弥譯　滿蒙處分論　定價金一圓　京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇番

腦病と人の運

▼頭痛のする人

人は自分の運の好い惡いを、神様か何かの力であるやうに思つてゐるが之れは大きな誤りであつて、人自身が自分の運の神様なのである。だから福の神も貧乏神も其人の中に住んでゐるのであつて決して他にあるものではない即ち、もしも茲に頭の惡い人があつて雨模様や蒸暑の時はイヤに頭が重く、日常も何となく頭がヅキ〳〵するなぞと云ふ腦病頭のためにロクに仕事が出來ないとすると。社會は此人を冷遇する。それに反して頭の好い人即ち健康な頭腦を有する人は仕事もどん〳〵捗るので社會が厚遇する。其處で『あ、アノ俺は何故運が惡く行くんだらう』と歎聲を發する事になるが、之れは決して運が惡くなるのではない。自分で運を惡くするのである。此場合その惡い頭を治す事は即ち自分で自分の運を好くする方法なのだ。即ち腦病良劑レーベンの發明者當持醫學士の二册の治療書はその方法書に外ならない

▼記憶の惡い人

醫學士當持爲治氏は此二册の腦病治療書を廣く社會に頒布してゐるが、それは何故であるかと云ふに、つまり今云ふ世の『運の惡い人』を救ふために外ならないのだ。同氏はそのために其半生を費して苦心慘憺たる結果有名なる健腦新劑レーベンを發明した位である一體今の世は腦神經衰弱時代と云つても好い位であつて、男なら腦神經衰弱。女ならヒステリーの人が非常に多い。之れは世の文明が進んで生存競爭が激しくなるに從ひ增へる病氣であつて頭痛のする人なぞ皆此病人である『僕は近頃何うも胴忘れをして困る』なぞと云ふ人も此病氣にとりつかれてゐるのだツマラない事をひよい〳〵忘れてゐる中は未だ好いが知らぬ中に病氣が進んでやがては親しい友人の名を忘れたりする位になる。此點は學生なぞ最も注意すべき事であつて學業優秀の青年たるには何よりも健腦が大事である

▼夜眠れぬ人

腦神經衰弱の症候の中で最も苦しいのは夜眠れない事である。いざ床についたとなつても、さま〴〵な妄想があとから、あとからと湧いて來て却々眠れない。眠らうと努力すればする程益々眠りかねてつまらない取越苦勞をしてみたり、莫迦げた空想に追はれたりして、やがて一時の時計がなり二時の鐘を聞き終には頭が何かで壓されるやうに重くるしくなつて來る。迯う迯う夜が明ける……たまに眠れば不愉快な夢に襲はれて冷汗が全身にビッショリと流れてゐると云う有様。勿論翌日の氣分の惡い事は夥しい。それでも本人さつぱり病氣には氣がつかずに『近頃は眼が冴えて困る』位で平氣でゐるのだ。實に危險な事である『本人自身で解らない』のが此病氣の特徴であつて本人の知らぬ間に病勢はずん〳〵進んで其結果半身不隨になつたり卒中で倒れたりする事になるのであるから本病患者は何を措いても常持學士のレーベンを常用して二册の治療書を讀む必要がある。夫はハガキで申込みさへすれば無代で贈るのである

▼飽きつぽい人

夜眠れないために翌日頗る不愉快なのは云ふ迄もない事だが、それがために仕事が渉どらないと云ふ事は其人のために何れ位不幸であるか解らない。『仕事に熱心になれない』と云ふのは此病氣の一症徵であつて仕事をしてゐても直ぐ飽きが來て毎日中眠氣を覺えむやみと欠伸が出て何かの拍子に立上ると、ぐらん〳〵と眩暈を感ずるなぞと云ふ人は皆本病にかゝつてゐるのである。斯かる人が社會に於て何れだけの活動が出來よう。云ふ迄もなく劣敗者たる運命に立到るのである。即ち斯る人は一日一刻も早く當持學士の治療法に從ふか、又は其健腦劑レーベンの偉力に賴るかして速に全治する必要があるのである。レーベンは既に社會的に其價値を知られてゐるので茲に事新しく説く必要はないが岡田醫學博士や森醫學士を始め陸海軍醫諸大家が證明して、第一に植物性藥であつて米麥を常食とする東洋人に適合し第二に腦の要素たるリンサンを多量に含んで居り第三に、その製劑法が最新式で完全であると云つてゐるに依つても其社會的信用の程度は知れよう

▼優柔不斷の人

一體此病氣の人は俗に云ふ『ぐづ』であつて些と手紙を書くのも面倒、人を訪問するのも面倒で、常に煮え切らぬ生活をしてゐるものであるが其中に自信力の缺乏、厭世の情なぞがわけもなくつのつて來て終ひには取返しもつかぬ運命に入るのであるから速に治療の法を講ずるが好い。何の手數はない只ハガキ一枚を認めて東京市京橋區弓町二十二番地、弘濟院、中南定太郎へ申し込めば、常持醫學士の『腦神經衰弱療法』『精神療法』の二册子は直に無代贈呈さるゝのである。本書は容易な文章で何人にも理解出來るやうに簡單確實な療法が書いてあるのである。人は自分自身の醫者である。神である。自分の心掛一つで幸不幸は分れる。無遠慮今直に申し込むがよい。

滋養強壯料

專賣特許(本邦及英米獨佛政府)

▼甚しき臭味を忍びて肝油を飲食すべき時代は去れり▲

河合龜太郎氏創製

◎肝油ドロップス

◎肝油ドロップス　肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及び可溶性含窒素物を以て成る滋養強壯料なり

◎複方肝油ドロップス　肝油の含量を半減して有機鐵・有機燐・及び石灰・規那等を含有せしむ

肝油が一般の虚弱者、羸痩者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し治療上缺くべからざる滋養劑として、内科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫家の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき『肝油ドロップス』を創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、携帶の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく、殆ど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も、冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所なり

(現品縮寫圖)

用法　肝油含量一顆一グラム一日二回乃至三回服用

五歳以下	一回一顆又は二顆　一日二顆乃至四顆
十歳以下	一回二顆乃至三顆　一日四顆乃至六顆
十五歳以下	一回三顆乃至四顆　一日六顆乃至八顆
大人	一回四顆乃至五顆　一日八顆乃至十顆

普通菓子の如く食すべし又飲料水に溶かして冷水又は微温湯にて服するも妨げなし

定價　五十顆入一壜金七拾錢　百二十顆入一壜金一圓卅五錢　複方百顆入一壜金一圓卅五錢

ミツワ石鹸　◎　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目　丸見屋商店　電話特長浪花 四四四八番 四四九番 四五〇番　振替東京七一〇一番

下痢、腹痛にはヘルプが一番よい

腹具合の悪い時には何よりも先づ

前宮内省侍醫柏村博士創製

ヘルプ

を試みられよ

下痢腹痛は直ぐ治り腸胃は健全に復す

殺菌力絶大なる　下痢止腸胃藥

定價　十錢　二十錢　三十錢　ポッケ型携帶用 五十錢　徳用 一圓 二圓五十錢

夏の下痢　病は黴菌性の物多し故に止瀉藥は殺菌力ある藥劑ならざる可からずとは最近醫學上の定論となる◎然るに從來の賣藥は單純なる下痢止にして殺菌力あるものなし　ヘルプは此點を考慮し配劑せし物なれば他に類なき最も進歩せし殺菌性下痢止腸胃藥也

(ヘルプ主効)　▲食傷▲水あたり▲時候あたり▲寢冷▲冷腹▲食過などより起る　■下痢■腹痛■吐瀉■澁り腹■腸瓦斯を止め▲腸加答兒■胃加答兒を治す

本舗　津村敬天堂　東京市日本橋區本銀町三丁目　振替東京六六四番　全國各藥店に取次ぐ

第三版

京城日報

三日朝刊（夕刊と合せて八頁）

發行所 京城太平通二丁目 合資會社京城日報社

大阪期米特電（二日）

仁川米豆取引所

歐洲戰局　京城日報

歐洲大陸に於ける戰鬪は、依然ヴエルダンを中心と爲し、要塞外の寸壤尺土を爭ふ爲めに、日々夜々鐵火と血肉とを以て相爭ふ。乃ち今日にありては其凄烈想像の外にあり。其遠く戰局の勝敗如何を考慮するまでもなく、佛獨兩國は其精力の有らむ限りを、此戰線に傾倒し盡くすものと、觀測せざるべからず。

去二三月中世間專ら聯合軍は五月中旬を以て總攻擊を開始す可しと取沙汰し。更に說を爲す者あり。總攻擊は七月なる可しと稱したれども、此ヴエルダン戰鬪開始以來、世人の耳目は此に集中し、復た他事を說者なし。且五月は既に總攻擊なるものを見ずして過越したり。七月に及ぶも亦其事を見るを必す可らず。是れ世間早く既に戰爭はヴエルダンにて終了すべしと爲すもの多き所以也。吾人嘗て戰鬪方に酣なる時は、則ち媾和運動の最も盛なる時たらざるべからざるを說きたり。而して此事や過去に於て數ば之を實證し得たるのみならず、今日に於ても亦一々之を驗證すべきものあり。平和回復を急ぐものは、例に依りて獨逸なり。而して歐洲列國間の戰役を終結するの大功業を夢るものは、例に依つて北米合衆國政治家なり。昨今羅馬法王廳及び西班牙政府亦各々相當の働きを爲しつゝあり。是等媾和運動が如何なる點まで其步を進むべきかは固より疑問なりと雖も、開戰以來斷えず行はれ、日月の重なるに從て漸次其反應を增加し來るを稽ふるときは、此度は則ち之を從前に比して若干の進步を見るべきや言を待たず。併ながら聯合軍の立場より云はゞ此現狀の下に於て、平和回復を言ふは其衷情の忍ぶ能はざる所なり。戰爭は實力を以て國際の爭を解決するものなり。國家にして一定の主張ある以上は、必ずや戰鬪上勝利を收めて、而して後已む。之を戰局の現狀に求むるときは、連合軍側は遺憾ながら未だ自己の主張を確保する丈けの勝利を收め得たりと云ふ能はず。是英佛露諸國政府交々媾和運動を排して之を容れざる所以にして、英國政府の言明する如く、獨逸を粉碎して復た起つべからざるの極に陷るゝ迄は、戰爭を已めずとならば、此戰局の前途猶悠々たり。而して英露兩軍亞細亞土耳其に於て、其連絡を通じたりと云へば、其成功も或は近きにあるべく、吾人は過日の英軍降服の恥を雪ぎ、其武を東方に揚ぐることを翹望すること甚だ切也。只近報荐りに伊太利のトレンチの進入軍撤退、又撤退、更に墺軍をして伊太利本土を侵さしめたるを傳ふるあり。伊軍は昨年五月を以て墺國內に攻進す。世間皆其の墺洪國を窮窘して爲すある能はざらしむ可きを期待したるに、施々漫々一箇年を經過して今や却て敵軍の侵略に遭ふは心外千萬といふの外なく、伊太利人亦其トレンチノ及びアドリアチツク沿岸の地を獲ずむば、其の戰を已むるをなかる可きなり。

三道隨行記　中島生

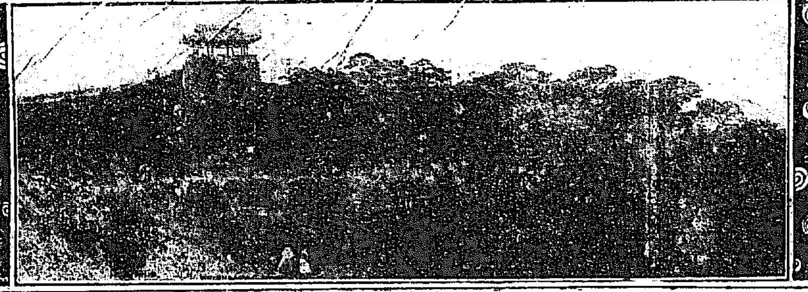
十六、小井里を經て歸京

○十四日正午道長官々舍に於て、總督は官民有志を招きて、午餐を饗し、席上に於ても熱心に懇話せり。○午餐會果てゝ午後二時、總督は長官邸を出で、徒步數丁の間、堵列せる見送者に慇懃挨拶し乍ら邑外に到り此處にて一行は自動車に乘り、錦江橋を過ぎて小井里街道を東北に向ひ疾驅す。

○公州より小井里に至る道路は一等道路にして、京城と木浦とを連絡する幹線の一部なり。改修よく行き屆き、並木も相應に長じ、青葉の風身邊を掠めて暢快也。

○此日初めて空模樣異しく、半途を過ぐる頃より雨疎らに臻る。但し濡るゝが程にはあらず。三時半小井里に著す。驛には臨時列車待ち受け、急行用テンホイーラー型汽關車は煤煙を立て居れり。○横井汽車課長に導かれ、總督貴賓車に上り、一行皆乘り、直に京城に向ひ發車す。小原長官澁谷第一部長、齊藤警務部長等成歡驛まで從ひ送り、松永京畿道長官、隈部警務部長等此處まで來り迎ふ。水原にて大垣京通、山口大每兩子乘り込み、宇佐美長官、白水參謀長、森武官、黑田囑託等と俱に車內談笑湧くが如く、白水將軍をお愛嬌の中心にして賑かなんど謂はむ方なし。六時過南大門に著すれば雨はやみたり。○南山の翠色頓に濃かなるを覺ゆ

○斯くして總督の三道巡視は豫定通り滯なく畢り、余の隨行の役目も亦果て、南大門より自由の身に解放せられたり。十日より十四日まで順路隨行はとても覺束なからむと豫期したりしに反して、終始總督一行に附隨して、毫も不便なく支障なく三道を一巡し得たるは一に忠清北道、慶尚北道、忠清南道の官憲當局者が深厚なる配慮と、周到なる斡旋とを、特に余の爲めに與へられたる賜に外ならず。特に明記して其の厚意を深謝す。而して又、京城よりの隨行記者は余唯一人に過ぎざるにも拘らず、到る處の官民有志は歡迎宴を催して余を遇せられたり。其の高情は余の永く銘記して忘れざる所、玆に衷心謝意を表す。○此行三道を疾驅して、殆ど通過したるのみ。然かも施政五年間に於ける地方開發の施設經營は今日に至り顯著なる効績を示し、地方人士の活動は更に目覺しきものあり。美俗良風山村水涯に洽ねく、衆庶悠々治平の惠澤に浴せるを看取し得て感慨頗る多し。總督親しく行いて地方と其民を視、苟くも時の許す限りは官民に接して訓示を與ふる等懇切を極めたり。總督の盛意は必ずや地方人士の領得せし所たるを信ず。彼の道路の如き一般産業經營の如き、余の感ずる所亦尠なからず。但だ本稿は隨行記に過ぎざる故、所感は改めて記す所あらむ。○今回の總督巡視の行程中自動車を用ゐたる里數を數ふるに、永登浦忠州間四十九里、忠州金泉間三十一里三十五丁、芙江淸州間四里三十四丁、淸州公州間十一里四丁、公州小井里間八里三十一丁、合計百四里四丁なり。而して南大門永登浦間、金泉大邱間、大邱芙江間、小井里南大門間、は鐵道を利用せり。此里程殆ど自動車行と伯仲の間にあり。○玆に乾燥無味なる三道隨行記の長く讀者を煩殺したるを謝す（畢）



古戰場の平壤、風光明媚の柳京、大同江の清流、箕子陵の松林、朝鮮何處に斯る景趣ありや

費用と時間を最も巧みに節約し而も愉快に有益に、情景兩つながら兼たる清遊を試みんと思ふ方は必ず「平壤遊覽團」に加入せられよ。諺に曰ふ、「思ひ立つ日が吉日」と

僅に半額の汽車賃で三日間自由に遊べます

露國食糧政策（三）　ツウオエ、ウレミヤ所報

何故にや露國の農業は殆ど千年間同一の程度に停止せり『畑に施肥するは既に一步の進步なり。然れども此の太古時代に於て人間の爲したる第一步以上露國の農業は殆ど進まざるなり』而して又た進み能はざるなり『其原因は家畜の缺乏即ち其僅少なることゝ及び其劣等なるにあり』露國の畜數を獨逸と對照するときは千九百十五年に於て左の如し

	馬	牛	羊	豚
露	五〇一	七二九	八六五	二五一
獨	八〇三	三、五〇一	一、七九一	三、一〇一

此數は兩國共百平方『ウヨルスト』に於けるものなり、特に悲しむべきは報告書に曰く『獨逸に於ては牧畜業益々發展するに反し、露國に於ては何等進步の認むべきなし。吾人は今一回我國の最大部分に於て牧畜業の衰退するを斷言せざるを得ず、農業文化の階段に於て人畜肥料に次ぐ上段は礦物肥料なり』然れ共『露國の農業は未だ此の階段には達せざるのみならず之に上らしめんが爲め著しき努力を加ふるも爲さざるなり』と報告書は言へり。例へば千九百七年に於て百『デシヤチーナ』の土地に使用せられたるは（百瓩を單位とす）左の如し

	燐酸	加里	窒素
露	四四	四	八九二
獨	二七二八	一八四〇	四一一四
英	二二四〇	二四〇	
白	五五六四	一〇〇〇	二三四七

鑛物肥料に就ても亦た吾人は甚だ獨逸に依憑するものなるを認むるとき、悲痛に堪へず使用せらるゝ過燐酸の三分の二は外國、其殆ど全部は獨逸より輸入せらる、而して鐵道運賃高きが爲め遠隔の地に輸送するを得ず、自國の製造所は總計十二にして其一を除き悉く西境に接する諸縣に在り、換言すれば製造所は現今敵手に陷りたるものなり、三四十年以前有名なる博識の農業家「エンゲルガルト」氏燐酸化合物使用の必要を全露國に對し勸誘せしも今日迄此事たる表癖として振はず

日報歌壇

［初夏晩春］　珍島　淑郎

青き海こゝゐくる島のくちばしと嘴のなつかしき五月となりぬ。

島國の五月の空はみどりゆゑ白帆の船におもひひかるゝ。

入海のしづこゝろなき朝凪に海鳥のごときわびしさの湧く。

つきとめて思ふならねどゆく春の水ほの白き光かなしき。

［心の翳］　古都子

常になきするどき言葉きゝてより傷春のこゝろさびしさまさる。

世の中のなまなか人の情にて盲ひるほどにいまだ飢ゑなく

いたましき母がみ最後の面ばかり心にしみてうすらぐもれる

何物か心のすみにしのび居てもの威しする無賴兒のごと

わかくして母に別れしわれに似て蔦ひそかに岩かげに匍ふ

日報俳壇　雉子郎選

白酒や灯に淡う染む父の面　露風

蛙子や灯せと暗き田の大雨　同

春こなた病む馬褒れ苗代田　沛子

花拘杞に鵞飼侭す庭の山羊　同

月既に捨て蛤の貝杜　闘水

花鮮釣臺の人水乞へり　同

薪木積で村豊かさや杏咲く　求

柳大樹暮れて倘打つ船大工　同

茅花なき〳〵網打つ兒を待つ子哉　昌山

紀元節砲塔に見る朝の風　同

立春の旭木深くあたりけり　合歡女

桃の家や殘壁を背に潮を前　田打夫

姉と燈下に淋しと蕨束ねけり　竹水

虻來るや二階に住みて我安し　北星

井戶掘り上る泥に接木の埋れたり　麗水子

野遊びや人皆知らず身の恙　橙黄子

草餠を炙り亡き兒の逸話など　邸聲

（仁川の沛子「露風等」連を出す）

水草生ふる庭飼不可思議の命かな　青扇

蝶

蝶飛ぶや草に染りし手を洗ふ　山民

蝶飛ばずなりし塔影消えし晝　同

日雲に入れ野風や蝶を見ず　雲帝

白壁に陽強し蝶高く飛ぶ　露風

朝鮮諸官廳 受驗講義錄

國語會話作文漢文歷史地理算術法學通論行政法講義現行朝鮮法規諸官廳各學校試驗案內
等朝鮮諸官廳受驗の參考科目一切網羅して剩さず七冊にて完結全部出來 全部金一圓九十錢
送料十四錢 全部前金にあらされば需に應せす

京城旭町二丁目朝鮮雜誌社內 朝鮮斯文學會 電話一二五〇・振替京城一九二

時季!!! 桑種
魯桑純良新種子 壹升に付代金四圓
普通新種子 壹升に付代金貳圓
多數の御注文に對しては特に割引可致候 御注文は官廳の外前金を申受候
京城南大門外 朝鮮勸農株式會社販賣部 電話四〇三番 振替口座京城三二七八番

文章世界 六月號
■緑蔭日記……田山花袋
■自分一人の事……安倍能成
小說 黄昏の家……素木しづ／人々……岩野泡鳴／藁人形
■歌壇新進の群……尾山篤二郎
■秋聲氏の作風……近松秋江
■靈界問答……ストリンドベルグ 土岐哀果
▲雜音の中
▲明治廿五年頃の文壇……武田鶯塘
▲處女作の回想……長田幹彥
▲文壇立志篇……（武者小路實篤）
▲掘り出した芋……西村渚山
▲露國詩人バリモント氏が事
▲現「文壇」の人々……清水柳三郎
■立體派の書……木下杢太郎
東京 博文館 本町

黑柳勳 著 實用ペン習字帖
今やペンを以て日本字を書する時代とはなれり、ペン習字帖は此要求に依て生る、楷書行書草書を始めあらゆる書體を筆者の流麗暢快なる鮮明精巧なる印刷と相俟て何人も直に會得熟達せしむ。
定價金二十錢 送料四錢 折本 大阪

朝鮮彙報

朝鮮彙報 大正五年六月一日（定價貳拾五錢 郵稅二錢五厘）
主要目次
◎口繪（金剛山に於ける鐵道連絡會議員一行 朝鮮風俗（三色版））
■朝鮮米の內地移入稅復舊案に就て……荒井度支部長官
■朝鮮の上水……田中丸總督府囑託
■六典の最後に過渡の時代あり……淺見高等法院判事
○大正五年度臨時恩賜金豫算の梗概○篤行者事績○四月中の朝鮮貿易○東京に於ける朝鮮米概況○大阪對朝鮮貿易
■慶尚南道畜産事情……野口總督府技師
○大正四年蠶種製造狀況○特用作物實收高○豆類實收高○大豆粒選實施成績○下付植林樹苗成績○日支鐵道連絡運輸○四月中の鐵道運輸○水道工事功程○教授資料平壤地方習俗○社會教育施設○補習教育○モルヒ子慢性中毒者治療の狀況○賣笑婦健康診斷狀況○製鹽業に就て（今津技師）○シンチムの染色實驗（上田助敎授）○勸業模範場小作人の貯金成績（向坂技師）○滿洲通貨一斑○朝鮮銀行調○東洋の日本○波蘭占領地に於ける獨逸の施政○地方通信○雜報○統計○法令及通牒
■大正五年度臨時恩賜金豫算及事業概要
■朝鮮語の研究……新庄通譯官
▲投稿を歡迎す 原稿締切期限每月十日
▲販賣店 東京神田嚴松堂、朝鮮各地の書店に販賣す
▲廣告料 一頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店

朝鮮彙報特別號 六月十五日發行 紙數約二百頁 定價二十五錢郵稅二錢五厘
◎口繪 藥料植物
■朝鮮に於ける地稅制度の沿革……藤川度支部稅務課長
■鷲峰（咸鏡南道 平安北道界）植物調査……中井理學博士
■朝鮮の山野より生產する藥料植物……石戶谷總督府技手

◎佛軍獨の築城占領

アヴオクール方面の重砲戰

巴里來電三十一日夜發表の公報に曰くムーズ地方にてはカヴオクール附近及び三〇四高地に於て重砲の激烈なる戰鬪あり佛軍は午後モルトム西南斜面に於て堅固なる築城を施せる獨軍陣地を攻擊して之れを占領し捕虜二百二十名及び機關銃砲七門を獲たり又佛軍は二十九日夜モルトム東南斜面に奇襲を行ひて二十五名の捕虜を獲たりムーズ右岸に於てはムーズ河とヴオー堡壘の間に於て砲兵隊の大活動あり(倫敦所報)

◎獨立守備隊の編成

現役兵を充つる事に變更す

在支那鐵道守備の任に當る我が獨立守備隊は今回之れが編成を變更し現役兵を以て之に充つる事となりたるに依り陸軍にては同守備隊各大隊附將校を任命し三日の官報を以て發表したり同守備隊は六箇大隊より成り第七(旭川)第一(東京)第十五(豐橋)第九(金澤)第二(仙臺)第三(名古屋)第十(姫路)第十六(京都)第八(弘前)第五(廣島)第十三(高田)第十二(小倉)第六(熊本)第十八(久留米)の各師團より少數の現役兵を選び之に當てしものにして何れも不日各所屬部隊を發し渡支の途に上る由(東京特電)

◎湖南都督の意見

獨立宣言と同時に各省に打電

湖南都督は獨立宣言と同時に各省に打電して曰く袁總統は恣に約法を破壞して帝政を計畫し民の恨を招きたる爲め終に義軍起れり之れ袁總統が既に民國に背き總統の資格を失ひたるものなれば我民衆素より服從の義務なきも民の苦痛を顧慮し隱忍今日に及べり幸に帝政取消と今回南京會議あり總統は此の機會に於て速かに退職を決行し民國に謝すべきなり然るに南京會議に於て湖南外四省が退職を主張したるに對し直ちに抑壓を加ふるに至れるが如きは民衆の公憤最早や忍ぶ能はざる所にして之れ湖南の健兒を率ひ討伐の志を起す所以なりと(北京特電)

◎陝西軍優勢

陝西獨立軍は既に河南省臨田に駐屯したる軍隊を降伏せしめ騎虎の勢を以て陝州に來襲せり(北京特電)

天皇陛下に進講

宮內省御用掛淸水法學博士は二日午後二時宮中に參內 天皇陛下には鷹司侍從長を隨へ御學問所に出御同博士に拜謁仰付けられ憲法の進講を聞し召され波多野宮相以下數名に御陪聽仰付けられ午後三時入御あらせられたり(東京特電)

◎地方官の更迭

二日左の通り地方官の更迭ありたり(東京特電)

栃木縣知事 從四位勳四等 北川信從
任新潟縣知事(二等)
兵庫縣內務部長 平塚廣義
任栃木縣知事(二等)
新潟縣知事 坂仲輔
依願免本官
群馬縣內務部長 渡邊忠諒
任兵庫縣內務部長(三等)
高知縣內務部長 窪谷逸次郎
任群馬縣內務部長(三等)
從五位勳五等 信太時尙
任高知縣內務部長(三等)

◎大阪財界近信

▲金株式改正統一 安田系[illegible]金銀二種の株式を有せるが近時銀價の著しく昂騰せるを好機とし此際銀株式の名稱を廢止して全部金株式に統一[illegible]

[illegible]輸入品の激減により市價大暴騰以來[illegible]五十圓內外を唱へ平均の約三倍の[illegible]を招致し二月下旬の相場は十貫目[illegible]

▲肥料買注文多 大阪の安部[illegible]生產を休止する事を決議したり

▲日火盜難保險 日本火災保險會社は今回盜難保險兼營の許可を[illegible]比例保險は通例保險料低廉[illegible]險等級は五位とし種類を三種となし[illegible]一日最高[illegible]一萬圓とし最初東京大阪神戶京都四[illegible]

[illegible]千四百三十九人にて尙續々增加し目下女工の方が多かるべく賃金も亦[illegible]工を凌ぎ需用頗る盛んなり[illegible]職工六千人あり其の約三割は徒弟なりと硝子工業は技術の熟練を要し[illegible]十歲前後の少年職工が五箇年間[illegible]

▲黑糖入札結果 大阪の大阪砂糖共立物產內外砂糖の三會社が二十八日執行したる黑糖の入札結果は[illegible]

◎奬工會社創立の經營に就て

志岐信太郎氏談

東洋奬工株式會社は京城に於ける土木請負業者に依りて企てられ既に長谷川町工友俱樂部內に創立事務所を設けて著々準備中の由は既報の如し同會社設立計畫の發案者にして發起人の一人なる志岐信太郎氏は滿洲視察を終へての歸途車中に於て此計畫を語りて曰く

▲多年の問題 東洋奬工會社設置の計畫は多年の問題にして今日迄のことに至りたるは時勢の要求とも云ふ可き其實[illegible]離せの懸なき能はず唯日本內地にすら此種の計畫なきに拘らず朝鮮に於て初めて創始の擧を揭げたるは多少吾人の意を强うする所なり

▲事業の目的 會社の目的とする所は曩て社會に發表したる如く(一)土木業者に資金の融通及び仲介(二)工業機械類の賃貸及仲介動產不動產の賣却又は交換若くは賃貸(三)土木工業の調查(四)土木設計製工事及び勞力並に材料請負(五)土木工業の保證行爲(六)土木工業者の信託業務の受託等にして一旦信託會社と何れも選ぶ所なきも信託會社は總督府の認可せざる所なれば遂に奬工會社として認可を申請したるものなり認可に先ち其事業の性質上東京に於て中野武營氏等の計畫中なる東洋保證會社(資本金一千萬圓)と合同し奬工會社は京城に於ける保證會社の支店として創立せんとの意見を持つ者多く中野氏等とも交涉を重ねたるも同社が信託會社組織なると且つは交涉中に奬工會社が認可されたるとにより現在にては關係を斷ちたるなり

▲會社成立期 奬工會社の創立に向つて全力を傾注し來る八月の認可期限內迄には必ず成立を遂ぐ可き序となり居れり、會社發起の當初においては土木業者の手に於て一手に株を引受くる筈なりしも會社の基礎を健實ならしむると事業の遂行を圓滑ならしめんため株式の一般募集を行ふに至れるものなり幸にして各方面の同情を得居れば成立は容易なるべしと信ず、唯今日遺憾とする所は資本金の寡劃なることなり土木業關係の會社が百萬圓の資本金を有すればとて何程の仕事をなし得るものに非ず將來滿洲方面の土木工業界に向つて發展せんとすれば少くも五百萬乃至一千萬圓の資本金を要す可く將來に對する希望は多けれども今日は未だ之を望む時機にあらず、會社成立の上は一切發起人に於て會社の重役たることを辭し一切局外者を招聘して之に當らしむることに決定し居れり

◎咸南農作概況

咸鏡南道地方に於ける農作豫想を聞くに各地共本年四月末に至るまで概して氣候の變化少なく極めて順調なるを得たるが五月初旬以降氣溫の變化多く雨天或は曇天勝ちとなり氣溫低下し寒暖交々到り爲めに氣候は平年に比し約二週間の遲延を見るに至れり從つて農家播種の著手又遲延せざる能はざりしと雖も例年五六月の兩月間は降雨尠きを憂ひ(旱魃甚しき)を恐るゝ時季なるにも拘はらず本年は四月以來降雨比較的頻繁にして雨量潤澤なりし爲播種植付共に滯りなく終了し發芽及び生育亦頗る良好なり果樹は冬季中稀有の暖氣なりしに因り寒傷の被害尠きのみならず五月上旬に於ける近來に珍らしき強風も差したる影響を見ざりしもの〻如く發芽後の成績極めて佳良にして早きは五月上旬より晩きも同中旬より花開きたり由來普通作物は夏季の溫度高き程成育並に結實良好なるも果樹は夏季の溫度過高なるを好まず氣溫の關係互に相反すと雖も目下の狀態を持續し今後氣候に大なる變化なかりせば本年の農作物は一般に豐饒疑ひなかるべしと(元山)

◎北鮮の活況

▲活氣立てる會寧 國境會寧は軍事上及び通商貿易上の重要地點にして其生命も亦た此の二點にかゝれり然るに本年は多年希望して止まざりし增設師團の實現を見るに至りたるのみならず旅團司令部の所在地として決定され既に新設師團の一部隊を迎へ五月二十五日は立花師團長の來寧となり開廳式を擧行さるゝに遭遇し將に一新紀元を畫せるの感あり會寧の市況は頓に活氣を呈するに至れるが殊に目下工事中なる中野工事部の會寧軍隊將校宿舍及び岩本事務所の沿線鐵道官舍は目下數百名の大工其他の勞働者を使役して工事を進捗せしめつゝあり市中には到る處家屋新築模樣替工事等一時に起り新來者は家屋のなきに殆んど閉口し居るの狀況なり又た該工事に使用すべき木材は主として間島方面より搬入せらるゝ結果自然之が代價も騰貴して諸物貨の賣行活潑となれるが近く第四第五工區鐵道工事著手の曉は一層の殷盛を呈するに至らん

▲羅南官舍の建築 大倉組に於て請負ひたる羅南業城官舍建築工事は目下三箇所に分れ日々大工四十名石工三十名人夫三百餘名を使役して地盤工事中なるが六月一杯には土工を竣り直に建築に取り懸る豫定にて既に切組み工事に著手したり されば六月上旬頃よりは人夫の如きも千餘人を使役するに至るべきが總工事は是非共九月末日迄には竣工せしむる豫定にて請負者は工事を進捗せしめつゝあり

▲耐火粘土優良 咸北道鏡城郡梧村面生氣嶺石炭床上層に於て發見せられたる耐火粘土は過般中央試驗所より技師出張調査の結果優良品と認められ既に內地の耐火煉瓦製造所に送付し試驗製作せしめたるに何れも其成績優秀たるより近く搬出の運びに至る筈なりと然るに朝鮮に於ける耐火煉瓦の製造は永登浦に官營の製作所一箇所のみ而も同地に產する耐火粘土は品質北道產に及ばざる事遠くして製產高多からざるを以て年々勃興する朝鮮の工業界は年々內地より多額の製品を移入使用しつゝあれば同粘土生產地に於て製煉所を設け製造搬出すれば一般の利益となる所尠大なるべしと

◎郵貯九百萬圓

朝鮮に於ける新記錄

五月末日朝鮮郵便貯金現計は預入人員八十九萬人其金額八百七十萬圓にして正に朝鮮郵便貯金の新記錄を作れり而して之れを前年同月に比すれば二百萬圓を激增し又前月末に比すれば七十萬圓の增加となり居れるが其の增加の理由は大正四年度郵貯利子卅萬圓の加はれる事と更に貯金預入增加ありし爲めにて過去の最高潮時たる昨冬の八百二十四萬圓に比するも尙ほ四十六萬圓の增加を見たる譯なり尙ほ此の勢ひを以て押し進めば本年中に千萬圓に到達すべしと

◎桑樹害虫發生

全羅南道長官より總督府に達せる報告に依れば羅州郡羅新面に於て五月初旬より桑樹に桑尺蠖、姬象虫、蝸牛等の害虫發生せるより當業者を督勵して極力撲滅に努めたる結果今日にては全く驅滅せしも被害面積三町步に於て二割二分即ち桑葉一千三百貫の減收を免れざる可しと

◎安東縣より

▲滿鐵線路檢閱 滿鐵技術局長堀技師一行は線路檢閱の爲め一日午後五時五分鹽視車にて連山關より來安元寶館へ投宿二日は滯在の上當地附屬地を巡視し三日午前十時四十分列車にて奉天へ向ふ

▲著筏十萬餘連 一日迄に當地へ流下せる鴨綠江材は支那料棧筏四百三十七臺約十萬一千連採木公司直營筏八臺にして其內買取引濟のもの二百四臺約五千百連に上れり而して昨今の相場は上物一寸に付紅松二分杉松一分二厘見當にて就中杉松の賣行最も良好なり

▲憲兵隊長巡視 關東憲兵隊長藤田中佐は管內巡視の途次二日來安當地分隊を巡視して三日奉天へ向ふ

▲鮮銀哈市支店 今回當地朝鮮銀行出張所長より本店詰に轉じたる阿部讓氏は哈爾賓支店開設準備の爲め二日出發同地に向へるが歸安期は本月中旬頃なる可し

▲採公員逃歸る 嚮に馬賊の爲生擒されたる採木公司長白府分局員支那人二名は賊徒の隙を窺ひて無事逃れ歸りたる旨三十一日夜採木公司へ來電ありたり

▲本工廠の改革 安東木工廠は最近內部の改革を行ひたるが今後大に業務の擴張を計る方針にて其第一著として京城大連奉天等に販賣店を新設する事となり目下出品の製作に著手中なり

◎山形大佐東上

警務總監部高等警察課長山形大佐は三日午後七時五十分南大門驛發東上の途に就く筈

◎高知視察團動靜

安藝高知縣教育會長引率の同縣教育家視察團一行二十五名は二日午前入京原金旅館に投宿總督府を訪問し午後四時西大門教育俱樂部に於て關屋學務局長及び秋山視學官の講演を聽取せり

人事消息

▲宮崎又次郎氏(江原道第二部長) 二日午後入京不知火旅館へ
▲佐々木志賀二氏(忠北第二部長) 同上
▲須藤素氏(全南第二部長) 同上
▲高橋克己氏(釜山埋築社長) 二日朝入京天眞樓
▲吉村謙一郎氏(慶北第二部長) 三日朝入京浦尾に投宿の豫定
▲松井房次郎氏(忠南第二部長) 同上

◎平壤丸事件審判

六月六日遞信局內海事審判所に於て朝鮮郵船汽船平壤丸船長に對する衝突事件の海事審判を開廷する由

◎鑛業熟こ印紙收入

鑛業出願件數の少なからざる爲め四月朝鮮の印紙收入は前月に引續き好況にして二十二萬三千七百圓を算し前年より約五萬五千圓を增せりと

◎京畿種牡牛調查

本年一月より三月までの間に於ける京畿道管內種痘種牡牛を調查せる所に依れば種牡牛は三十七頭にて之れより種付したる牝牛八百八十四頭にして一箇月一頭の種牡牛にて約八頭の牝牛に種付する割合となれり而して保護種牡牛頭數は現在百十五頭あり種付牝牛二千三百四十四頭ありて之を一箇月平均にすれば種牡牛一頭にて約七頭の牝牛に種付するの割合なりと

◎普通學校生徒入學數

本年新學期に於ける京畿道管內の普通學校生徒入學狀況を聞くに左表の如し

▲公立普通學校 ▲第一學年男二千六百四十人女二百九十四人▲第二學年男四百三十一人女十五人▲第三學年男百九十一人女七人▲第四學年男百四十三人女六人▲計三千[illegible]十七人內貴族一人兩班九百八十二人常民二千八百四十四人

▲私立普通學校 ▲第一學年男七十九人女九十三人▲第二學年男十七人女七人▲第三學年男二人女二人▲第四學年男二人女無▲計百九十九人內貴族一人兩班八十三人常民百十五人

◎仁川學校組合會

仁川學校組合にては二三日中組合會を召集し授業料徵集規程改正の件を決議し及び會計檢查委員の改選を行ふ筈なりと

◎南言北語

前年の青島攻圍軍に參加した英國のバーナヂストン將軍が日本軍を激賞して居るとの事だ▲歐洲戰爭を見て益々日本軍の勇敢にして秩序ある事がヒシ〳〵身に沁むのだらう▲其は當り前さ感心する事程左樣に自國軍には寒心して居るのだらう▲自國軍に寒心して居るのはバーナヂストン將軍のみならずチャーチル氏迄が大に寒心して居るらしい▲其の證據にはキッチナー陸相の減俸に關し英軍を大に攻擊して居るのではないか▲此の間迄英軍の爲に大に氣焰を揚て居たチャーチル氏が今更ら攻擊もないものだ▲獨軍は更に全力を舉げてヴエルダンを攻擊しようとして居る▲戰局は益々多事此の處內輪もめなどは大の禁物要は協同一致にある內兜を見すかされて獨逸に乘せらるゝ勿れ▲吉野作造博士が餘りに雜誌に書きなぐるより土方法科大學長が▲君もソー雜誌に計り書かずるチト眞面目に勉强してはドーか▲と忠告したら博士は濟ましたもので▲ハイ何分私は金持の所から妻を貰は無かつたものですから、迚も學校の給料許りでは遣て行けませんので▲と答へた相な奕知土方博士は神戶の富豪小寺謙吉君の妹を貰つて居るので這當の處は痛快▲露國の日本通の人々は漢字の名刺を造つて得意に振り廻して居る相な▲露國大學日本語科出身のワスケーウイッチ氏は「和助一」とやつて居り▲浦鹽で有名な日本贔屓の一人マツウエーエフ氏は「松江英文」と印刷した立派な名刺を持て居る相な▲倫敦の橫町を夜更けて通ると其處にも此處にも夫婦喧嘩がある▲大勢の人は見物して居て誰一人止めるものはない相な▲英國でも矢ッ張り夫婦喧嘩は犬も喰はぬらしいとはナショナル、レビュウに見ゑた

司直縱談

法官歷訪錄

▼開明と未開と

京城地方法院 松寺檢事正

▲京城地方法院の管轄してゐる區域は朝鮮中最も文化の進步せる京畿道と未開の域にある江原道の二道だから時々取扱ふ犯罪の性質を見ても相反せる現象が著しい乃ち開明と未開と云つた風に兩極端を現して來る▲流石に京畿道の鮮人は京城仁川を控へ又內地人と接觸する機會も多いだけ智能犯とも云ふべき詐欺橫領等も少からず竊盜も仲々進步した行り方をする、まあ大體に於て物質文明の進步に伴ない金の値打が上り又欲しくなる度の強まると見ゑ金錢に關する犯罪が多い▲併し江原道は酷い、內地では脅迫の手紙を金持に送つて幾干の現金を何日何時迄に何處へ持參せよと云つた風の行爲をジゴマなど〻珍らしさうに騷いでゐるが江原道などはかうした犯罪は昔から少なくない、命をとるだの火を放けるだのと脅す許りでなく墓を掘つて死人の首を切り鮮人の墳墓尊重の念を利用し出金を迫る罪もないでない、慘酷な仇討、それかと思へば先日なぞは尾籠な話しだが人糞を姑が嫁に喰はしたと云ふ事實もあつた、總じて江原道は近代的の風潮に浴する度合が薄いから住民は素朴であると同時に殘酷らしい事件が大分ある

◎故友枝君を憶ふ

前の朝鮮通信社長友枝英三郎君逝てより、既に一週年、本日は君の生前の知己等相寄り相集り、午後四時より、龍山瑞龍寺に於て、其の招魂の祭祀を行はんとす。嗚呼君や、北筑青葉城下の產、曾て玄洋社に遊び壯にして大志あり。早より朝鮮の開發に志し、操觚に從事する數年、時に鴨綠江畔に、遂に滿洲を睥睨し、竊に腕を撫し、時に半島の山野を跋涉して、熟々開發の計畫を回らす等、夢寐常に訐る。而も爲人溫健能く他の爲に走せ、友の爲に計る、故に君を知る者、能く君を親み、相信じ、相助く。後年に至り、更に大望を抱て、蒲團に著目し、密かに畫する所ありたるが、病を得て遂に起たず。其の前途大に爲すあらんとして逝く。天亦無情と云ふべし矣。然れども、君が知己は、能く君を知り、今日相集る人、皆君を知る者。君以て地下に莞爾たるべく、以て冥すべき也。

◆殖民地に住む者の是非讀まねばならぬ雜誌◆

朝鮮公論

六月號出づ 一日早く手にする者は一日早く天下の形勢を知り一日早く處世の要道を悟る

口繪六頁……(離宮候補地、臺灣共進會、時事片々其他數種)

人物評論 大屋權平論……有島生水
◎同志社閥……泰山樵客
◎朝鮮の鑛山會社の設立を賛す……朝鮮公論社長 牧山耕藏
▲臺灣土產話……牧山生
▲無門關▲公論餘滴▲奇聞逸話▲人の噂▲大塊翁俳莚記▲公論文壇▲白芥子……
◎京城地人錄……(一名京城人總まくり全市の大觀異想る)……岡本俠曜
▲興味津々臺灣と朝鮮の統治比較!

殖民
▼東拓移民に代りて天下に訴ふ……横井博士
▼支那を論じて滿鮮統一に及ぶ……戶水博士
▼殖民地爭覇戰と日本の國是……仲小路廉
▼同化と殖民政策及外交……高橋男爵
▼勸業銀行は大に朝鮮に投資す……志村總裁
▲東拓株主總會▲讀者の聲▲京城乘馬俱樂部▲藝妓番付▲笑子の戀愛觀

▼朝鮮總督府に諮問機關を設くべし……朝鮮公論社長 牧山耕藏

鑛業
▼鑛山會社の設立と當局……石塚長官
▼鑛山會社は最も機宜の策……町田關稅課長
▼大に鑛山會社を歡迎す……勝田聰藏
▼鑛山會社を誤解する勿れ……山口太兵衞
▼鑛山會社設立の經過……竹下康之

◎藝妓の檢黴を何うする
▼藝妓諸君狼狽するな……中野警務官
▼檢黴されて堪るものですか……千代本女將
▼斷乎として檢黴す……松井警視

▲華族を絡らんだ女二人(其二)
▲大同江畔の哀話……胡蝶

▼▼變幻出沒奇代の怪美人彼女の手に誑りし男幾十人ぞ……
ピストル お仲の正体
▼此文出で丶京城の男子顏色あり本號より初めて揭載……

◎重石其他各種鑛物相場表

毎月一回一日發行 一冊廿錢 六冊一圓四十錢 十二冊二圓八十錢 稅一冊一錢五厘

購讀申込所 京城太平通 振替京城一五七七番 電話一〇七〇番 二四〇〇 朝鮮公論社

朝鮮公論は母國、臺灣、支那、滿洲、朝鮮の重なる書店に在り

簿記募集

開校廿五週年優待規則 通學生 寄宿生 校外生

東京芝櫻川町十一番地

私立 認可 日本簿記專修學校

景品附「抽籤」引換」期日變更

福の神の行衞は何方!!

愛飲家各位の御同情に依り期日以前に締切斷行の已むべからざる空前の盛況を呈せし

國產 サッポロビール アサヒビール

景品附大賣出し抽籤及引換期日を左の通變更致候間謹告候也

抽籤期日 六月二十日
引換期間 自七月一日至同三十一日

大日本麥酒株式會社 京城出張所

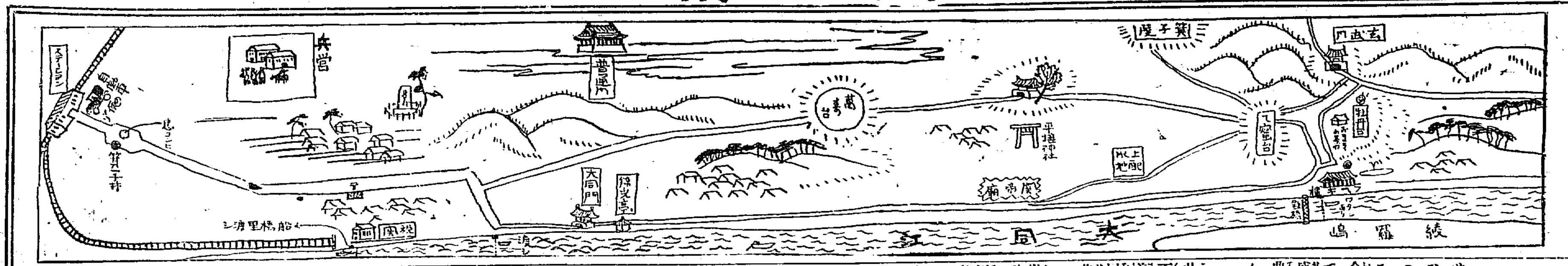
德用

絹紬洋傘 一割引

京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

期間六月二日より八日迄一週間

平壤案内圖



……綱の改正並に之に附帶する定款事項改正の二件を附議する由從來同行は……する利益は之を積立つるにありと

▲洋膠休産協定　洋膠は時局……業者は主唱して市況挽回策を講じ販賣價格を協定して勵行する事本年中……多しと

……は保險會社……にて之を調査し餘裕あらば被保險者に還附すべしと而して保……六萬四千三百九十五人内女工七萬五……

▲工場法ご硝子業　大……下に於ける硝子工場は三百十四工……る山にて工場法實施されれば硝子工場は直接打撃を蒙る事尠からずと……三歩十一錢一厘五毛なりと（五月二十九日支局記者）

●生蕃物語

＝太陽と一緒に住む夫婦神＝

蕃族の信仰する神樣　自然に對する樣々の迷信

八千五百尺の化物山

土地調査局調理課長　工藤壯平氏談

サイセット族の信仰して居る神はタアイとトアトと云ふ男女の神樣である、かつて此の夫婦の神樣は曾て太陽の居る處に太陽と一緒に住んで居つたが今は上坪溪の上流に在る岩窟に住んで居て凡ゆる天地間の動植物の運命盛衰を司つて居るが一年に一度の祭典の日には其の窟から夫婦の神が悅んで出て來る又ソーロルと云ふ

□蛇體の神樣が有つて

此の神は靈妙不思議の稟德を授けて下さる今も或る地方の蕃社で此の神樣の身體を乾物にしたものを持つて居るといふとだ又或地方の人民は祖先の魂はタアイ神の傍に住んで居るが戰死者の魂は西方の空に集まつて祟を爲して居ると云ひ又或る族は戰死者の魂は鬼火と爲るものと信じて居る、パイワン族は太陽をアダオと稱して崇拜しアダオの下に仕へて居る神のチヨウ〳〵は人及び動植物の産れる事を司りウマテ神は之に幸福を賦與する事を司つて居る太陽神の分身をチヤガラウスと稱し昔から今に至る迄（大武山阿里山中の一峰）の山頂に鎭座して宇宙萬物を支配して居る猶大武山は希臘のパアナッサス山と同じ樣に農耕の神、機織の神、祈禱の神其他諸々の神達が此の山中に居住來往して居るものと信じて居る此他パリシヤンと云ふ山の神は

□至る處の山々に

宿て居ると考へて居るツオー族にては神をヘチユと云つて居るが其の内のヤフアヘライは人類を守護する神であつて赤兒が生れると先づヤフアヘライの神は之れに冷水を注ぎ懸けるが水を掛けられて驚かない子供は大きくなつてから勇者に成れるとして有るまた人間の壽命の長短と云ふ事も皆なヤフアヘライ神が誕生の時に定めて其の命數の長さ丈けの綱を付けて多くの神が其の綱の一端を持つて居るしかし神を敬はず惡事を働く者は其の命數が盡きない内に綱が切れて死んで終ふのであると考へて居る猶此の外に軍神、山神、河神、粟稻、家、及び村落の入口にも其れ〴〵皆な其神々が付いて居ると信じ軍神はゴンングヒヱと云ふ人が死ぬと善人の魂は天國に赴き惡人の魂は皆な塔山に集合する此の塔山を蕃人ども化物山と稱し昔から樣々の不思議な物語が傳られて居る昔若い

□男女が相思して

居つたが兩方の父母は二人を夫婦にする事を許さなかつた其内に女は深く思ひに堪兼ねて悶死した、女が戀に悶れて死んで間もなく其の男はフラリと家出をした儘行衛が分らなかつたが七日目に又フラリと歸つて來て自分は塔山に行つて死んだ戀人に逢うて來たが大變腹が空いて居ると云ふから是れから酒と飯を持つて行くのだと云ふので蕃社の者共も然らばといふので食物を持つて其の男を先に立てゝ其の山頂に近い洞窟の處まで來ると其の男の目には女が見ゐると云ふが外の人々の目には何んにも見ゐなかつたが洞穴の中へ其の男が這入つてから二人の笑ふ聲や物語る聲などが聞ゐた、そんな事から此の山を化物山と稱して居る塔山は高八千五百尺あつて阿里山の一部であるが但しその洞穴も今日に於て皆なの目には所在が分らぬとか。（つゞく）

●鐵橋墜落

日本一の大吊橋

岐阜縣武儀郡美濃町より安桁村長良川に架せる長さ三里五尺市十八の日本第一の鐵筋吊橋は二日俄然墜落の報あり（大阪特電）

●宗演老師諾す

圓覺寺後董管長

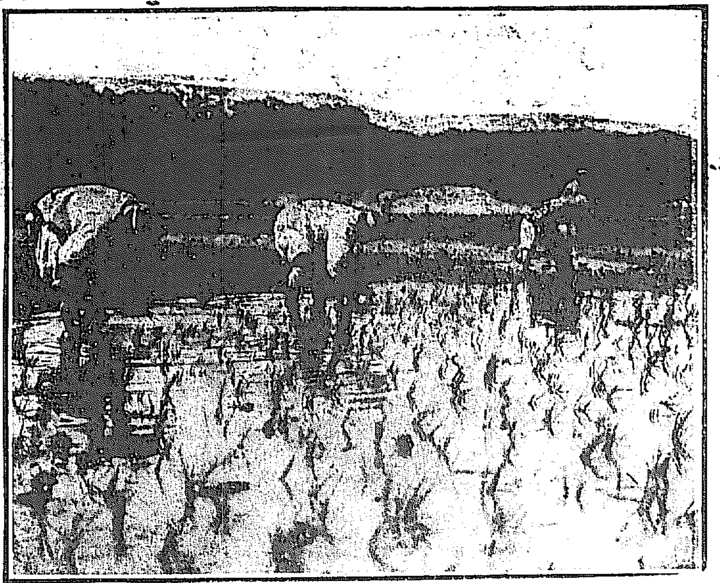
臨濟宗圓覺寺派本山なる相州鎌倉圓覺寺にては臨時宗會に於て滿場一致を以て管長選擧に關し宗演老師を推戴することに決し管長事務取扱石井靜李、山内總代福泉東洋、宗會議員高橋賢宗、同佐藤虎丘の四師は交渉委員として箱根木賀に滯在中の釋宗演師を訪問して後董管長の就任を懇請せしに宗演師は其熱誠に動かされ一宗擧げて斯く迄切望さるゝに於ては本派の爲め努力すべしとて快諾を與へたり（鎌倉）

●僧侶賊と格鬪して逮捕

住所不定韓德吾（三九）は二名の同類を作ひ何れも面部を覆ひ韓は洋刀他の二名は棍棒を携帶して去月二十八日午前一時頃全北井邑郡寶林面笠居里寶林寺に押し入り庫裡に熟睡し居たる小僧を起し携へたる荒繩にて縛り住職の寢室に闖入せんとするより之れを感知したる住職は密かに裏口より逃げ出し此の旨里民に告ぐると共に一方急を晉山里の憲兵出張所に報じ憲兵及び補助員は里民五名の應援を受け早速寶林寺に赴きしが此の時前記の賊等は寺内を荒し白米二斗八升外三十點の雜品を強奪し逃走せんとする處なりしより一同三人の賊を包圍し逮捕せんとしたるに彼等は茲に死物狂ひとなり洋刀又は棍棒を振つて抵抗し來りしより一同も之れに應戰し暫時格鬪を交へたるが其の結果寶林寺の住職は左耳上部に直徑約一寸二分の月形の傷を蒙り下岡を一本打ち折られ又た一名の里民は打撲傷を負ひ韓德吾も又た頭に三箇所の重傷を受け其の場に打ち倒れたるを捕縛したるがこの隙を見て他の二名の賊は何れにか逃走せり

●支那兵邦人學生を亂打す

南滿洲工業學校の撫順分校生徒小田慶太郎等六名は見學の目的にて去月二十七日奉天に來り城内を周遊して皷樓南西華門と東華門との間にありし際一時過ぎ宮殿前に突然の爆聲起り向ふ側なる圖書館崩壞して死傷者を生ぜしかば何の騷動とも辨へず城内に引揚げんとせしに爆彈の炸發に血迷へる支那兵數十名四方より押取り圍め鐵拳を揮つて毆りつけるやら銃臺を以て叩くやらして散々な目に合せたる上手取り足取り將軍行署へ連れ行き訊問したるも元より學生の事とて見學に來りしのみ他に企圖のあらう筈なければ其儘放免したるも學生は餘りの無禮に憤慨し相當手續を經て總領事館へ屆出たりと（大連）



田植ゑ……東大門外……

●佛の罰は覿面

慶南道安義郡邑内面板橋八里の洪某龍（五十）は廿一日一尺餘の石佛四體を鎭南浦に持ち行き賣却せんとせるを其筋にて怪しみ取調べたるに同郡銀樺寺にて竊取したる事判明し引續き取調中なるが佛體六體は其筋にて保管中なりと

●豹を撲り殺す

慶北金泉郡鳳山面禮智洞居住の農朴學龍（三二）は去月廿八日午後一時同郡同面仁茂洞乃南山にて草苅中何れよりか一頭の大豹現はれ出しより朴は其場にありたる石を取つて投げつけたる處美事腹に命中せしも死に至らず豹は死物狂ひとなつて朴に飛びかかりこゝに朴と豹の格鬪となりしが朴は機を見て石を取り豹の頭部を強か毆りしにさすがの豹もこれには堪へ兼ねその場に倒れしより朴は又も石にて頭部を毆りて遂に殺しこの旨金泉憲兵分隊に屆け出でしを以て隊にては皮のみ保存せり

●長崎縣の大火

二日長崎縣對馬國嚴原町石金十郎方より出火七十三戸を燒失し男子二名負傷女子一名燒死せり（門司特電）

●漁夫八名溺死

咸南德源郡縣面熊島一統二戸元杆蘭（二）外七名は去る二十六日午後同地朴文學所有の漁船に乘込み熊島の後方山海岸一帶に繁殖せる管草を採取に出懸けたるが折惡しく同夜より廿七日に渉る海上風波の爲め遂に行衛不明となりしより村民は二手に別れて二艘の小船に乘込み灣内は勿論永興灣より港外に至る迄極力搜査せしも一向に船影だに見出す能はず多分溺死せしものならんと（元山）

●狡猾な勸誘員

京城長沙洞居元日本公債株式會社朝鮮支部勸誘員朴用銑（三四）は帝國公債の月賦販賣に從事中昨年十二月より去る四月末迄の間に楊州郡南洞金聖者外四十四名より第一回拂込金合計約三百餘圓を集金し之れを店主に渡さず横領消費し尚ほ公債購買者にして一年間分全部拂込みたる者には現金二百圓を交付すべしと稱し約九十圓を捲揚げたる事件は京城地方法院にて懲役二年の處分となりたり

●大金を横領す

平壤府散兵里韓國人雇人成一德（二八）同里朴判益朴朝吉の二名は共謀して主人韓澤周が去月十九日漢城銀行平壤支店に千五百圓の預入れ方を命せしを奇貨とし僞造し置きたる銀行印及び預金取扱主任の印を當座預金入金傳票に押捺し朴をして該傳票に千五百圓と記入せしめ恰も銀行に預金せしものゝ如く裝ひ主人を欺き朴と共に同日午後平壤驛より逃走し奉天迄落伸びたる處を平壤署の手配に依り奉天驛にて二名共逮捕されたり

●強盜逮捕

住所不定金仁成（三四）と云ふは去る大正二年八月二十六日夜同類四名を隨ゐ全北茂長郡冬音面七岩里趙昊順方に押し入り家人を脅迫の上金一圓と雜品十一點を又た同月二十七日夜同郡非水山面新平里李鎭球方に押し入り家人を脅迫の上現金四十一錢と雜品十二點を強奪し其儘姿を晦し居たるものなるがこの程其筋の手に逮捕され取調べの上全州法院支廳の公判に附せらる

●長野縣の大降雹

去月三十日午前三時頃雷鳴と共に長野縣下水内郡飯田町を中心とせる三里四方の町村に直徑一寸五分大の降雹十五分間に亘り屋根の折れ曲りには二尺餘も積み器は奇觀を呈したり是れが爲め梨、瓜等の作物全部打ち碎かれ桑葉は全滅の有樣なり尚降雹の際道路に在りたる者は悉く頭部に負傷し又た木島小學校にては二百餘枚の硝子悉く破壞されたり（長野）

●鹽四萬斤流失す

去る一日午前十二時頃大倉町澤山喜多路氏所有の鮮船が碇舶の汽船竹丸より原鹽約四萬斤を積み移し鎭海丸を曳き行中海岸を距る凡二十間の沖合に於て潮流の爲め操舵意の如くならず岩礁に觸れし爲め船底に損傷を生じ海水忽ち侵入し瞬間に積載せる四萬斤の鹽全部溶解流失せしが約二百五十圓位の損害なりと

●故友枝氏追悼會

故朝鮮通信社長友枝英三郎氏一週年追悼會は三日午後四時より龍山瑞龍寺に於て擧行す出席者は會費金五十錢持參せらるべしと

□輝鳳獨奏會を聽く

六月一日午後八時から三有志平壤のもとに初めて開かれた琵琶輝鳳氏の筑前琵琶を聞く、……微沈滯した京城の琵琶界に斯の人を迎へた事はやがて忘れられんとする琵琶界の復活であるとも言へる氏はもと旭岳と號し橘派の人であつたが、昨年來感ずる處あつて自から切磋琢磨研鑽の結果自ら輝派なる一派を樹立したいが併かもよく自己の音調を解し自家獨創の音氏は技巧の天才であると決して美音と言ふではないが譜調は深山し曲中の人物を活躍せしめ其の巧なる彈法と相俟つて聽衆を醉はす、尤も節に依つては稍ともすれば技巧に過ぎはせぬかと思ふ點もないではないが、しかしこれは其人の先天的天賦から來た技巧としてみれば難ずる程の事もない。……[illegible]

書畫骨董定期入札會

六月三日より四日午後七時迄下見同七時より開札

京城南山町三丁目　佐々木聚古堂　電話三三三番

◉夏衣大賣出し　京城吳服界の老舖たる山口吳服店にては本年流行の珍納澤山取揃へ一日より五日迄格安に大賣出しをなす由

演藝

▲大正館　……

▲黄金館　……ゴールデン、ハイナ……

▲浪花館　……

讀者文藝

川柳題「笛」

○遠慮なく車掌別れの笛を吹き（一）　仁川　淼柿郎

▲草笛を吹いて郁を戀しがり　京城　うつゝ

▲馬賊難笛を吹くのが斥候　京城　さのじ

▲柴笛も毎夜紺けば惻ずかれ　金泉　溪香

▲驅落が汽笛鳴るまでびく〳〵し　平壤　北州

▲劍架獅子頭の下から笛が吹き　龍山　十八公

▲岩鼻で笛を吹いてる夏の月　京城　千鶴

▲未亡人秋の哀れを笛に知り　龍山　夏月

▲吹き出しさうな口で笛を吹き　龍山　荒兎

▲口笛に集まつて來る黒い影　龍山　小菅

物は付「涼しいもの」〆切一日發表四日　一口噺「朝鮮に因めるもの」同二日同五日　謎々「支那の戰爭」同三日同六日　狂歌「撒水」同四日同七日　俗謠「簾」同五日同八日　川柳「壁」同六日同九日　同七日同十日

株式會社平安農工銀行沙里院支店登記事項中左ノ通リ變更　大正貳年拾月參拾日發行シタル記名式社債總額八拾參萬圓ノ内償還未濟額拾五萬圓ハ大正五年五月貳拾五日該社債ノ引受先ナル東洋拓殖株式會社ニ全部償還ヲ了シタリ　右大正五年五月參拾壹日登記　海州地方法院瑞興支廳

京城壽座前　電話二七二　振替口座京城二三六七番　値段技術勉強地方は送料頂きません

夏物大賣出し　京城本町二丁目　山口吳服店　電話九番廿九番　六月一日より六月五日マデ　新柄格安品沢山取揃仕候

朝鮮で初めて製作發賣する　PINE ペイン万年筆　無限責任　實用向參圓八拾錢　紳士用六圓　米國製正十四金ペン付　萬年筆は如何なる部分にても即時修繕　修繕部　京城旭町二丁目　東京植松京城出張所

新刊書御案内
書名	著者	定價
會社法運用	木村房次郎	二、八〇
新訴必勝法	佐藤修叢	六〇
最近犯罪の研究	羽太鋭治	一、二〇
受驗參考國語解釋要說	内海弘藏	九〇
獨學自在勉强の仕方	奥村二吉	八五
英文法の先生	花園兼定	七〇
獨逸思想と其背景	金子筑水博士	七五
英明書集うた姿	英朋	一、五〇
少年傑作文集	二木書房	三五
歌集未練	吉井勇	六五
耶蘇の宗旨	原坦山	一、〇〇
入の裏	福滿蘆堂	八〇
夢の女	永井荷風	七〇
第二之女	小山内薰	三五
續お目見へまわりなでしく		四〇
通俗講話花鳥風月	川村清一	九五
春浪快著集		一、三〇
新式圍棋寶典	鈴木爲次郎	六〇
謠曲講義	鈴木暢幸	一、三〇
碧梧句集	大須賀乙字	六〇
俳句自由自在	武田鶯塘	七〇
荒木又右衛門	長編講談文庫	三〇
猿飛佐助大名探	長編講談文庫	三〇

京城本町　電話三〇八六　振替京城二五七三番　大阪屋號書店

石炭購買入札　六月十四日入札　詳細五月二十九日官報二十七日朝鮮總督府官報ニアリ　第十九師團經理部

夏衣大賣出し　御買上高壹圓五拾錢毎に　福袋一個宛進呈　六月一日より七日間　京城明治町　唐川吳服店　電話二六一番

電氣扇　電氣ストーブ　特許商標 B.K.　夏の物冬の物　サンデン電氣商會　本店 東京市京橋區尾張町二丁目（電新二〇〇）　出張所 市芝區高輪北町五三（電芝二四三二）　横濱市吉田町一ノ二九（電二九〇）

農具廉價販賣　石抜唐箕（三ッ口）十圓五十錢　萬石（鐵網）四圓　普通唐箕（二ッ口）八圓五十錢　水車（杉、松）十圓五十錢　農具、家具、建具、箱類製造販賣並に大小修繕　御用命奉願候　京城旭町一丁目四十三番地　京城木工社　電話三三九番（梅崎工場）

遊漁船御案内　釣道具　卸小賣　仁川海岸町三丁目角　芹川漁具店　電話七五四番

女鳩

渡邊默禪

『三』木賃ホテル

大野は先に立つて案内した。鳩子を眞中にして、父の子爵と生駒とがその跡に跟いた。

神町は小さな宿場村だつた。出たり引込んだり不規則な犬の歯形に立つた農家の檐には、もう二尺餘りの雪が積つて、雨滴の樋口に劍をかけたやうな氷柱が垂れ下つてゐた。大きな家の中では庚申講の宴會が開かれてゐるのか、所々に甲高な話聲が洩れて、茶碗を叩きながら俗謠をうたふ者などもあつた。路で摺違つた村人は男女となくモンペ——方言、寒中に穿く一種の袴、胸縞仕立の細長い、裁附に似たもの——を著けて、足にジンベイ——甚兵衛といふ者が創作したと言ひ傳へらるゝ雪沓。藁製のスリッパと想へば間違がない——を突かけて、さうして簑帽子——簑の上部に古風な頭巾形の覆がついてゐる、草製の桂衣といへばいへる——を冠つて、目も口も開かれぬほどの吹雪の中を平氣で歩いてゐた。

路はから〳〵に凍つて滑かな雪の面は、さながら磨みがいた大理石を敷いたかのやう、油斷をすると足を辷らしてすつてんころりと參る。二三町と歩かぬうちに子爵も生駒も何度となく轉んだ。鳩子は大野のマントの裾に捉まつて、おつかなびつくりに靴の痕を趁みつけた。

『危ないなア、おい、何處ぢや、まだか。』子爵は辟易した樣子。

『もう些と先でございます。』大野は雪塗れになつた主從の姿を顧みて、笑ひながら答へた。彼だけは土地に慣れてゐた。

人家の溯れかゝる村端所に、二三建瓦葺の家があつた。前に立つた大きな欅の木が、素裸の梢枝を北の曠野地から吹きあげて來る利鎌のやうな風にゆすつて、寒さに怯ゐる如くに叫つてゐた。軒下の柱にかゝつた板札に『旅人宿營業、煙草酒類賣捌所、遠藤吉右衛門』とあつて、閉切つた店の腰高障子に『おとまり宿、さぬきや』と拙い字で大きく飛ばしたのが見ゐた。

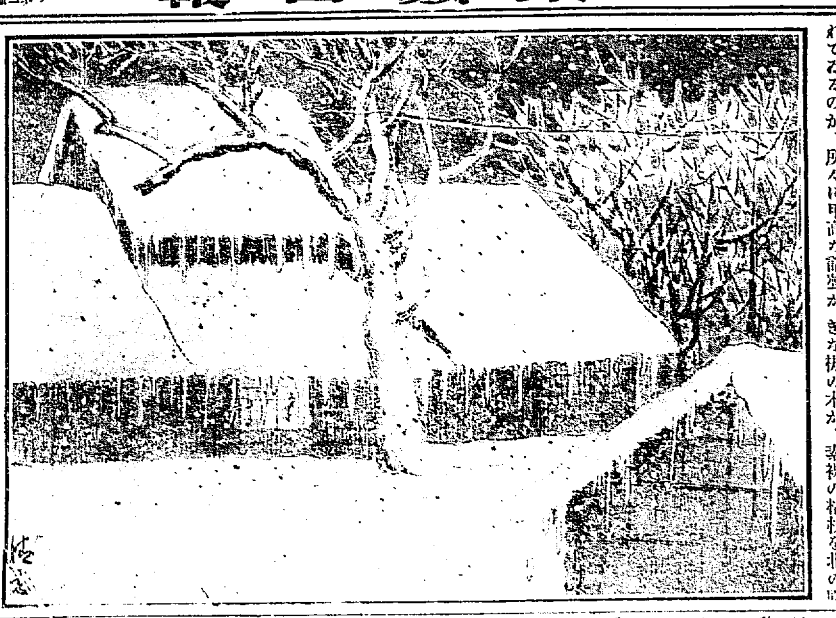
『此處です、宜しうございますか。』大野は其前に立停つて言つた。

生駒はびつくりしたやうに眼を睜つた。

『なアんだい、こりや。』

惘れ貌に目を睜つて。と、子爵はちよつと二階を仰見げながら、

『はゝア、なか〳〵風流な家ぢや。瑞西あたりの山中に有りさうなホテルぢやね。よし〳〵泊めるかどうか聞いて見い。』



『交渉するんでございますか、驚きましたなア。』生駒は苦笑して『こんな所にお泊りなさいますなら、まだ寺か村役場の方が宜しうございませう。おい、大野君、寺はないか、寺は。』

『よし〳〵、乗て〳〵置け。』大野は無頓着にさつさと飛込んだ。少時すると出て來て、

『差支ないさうです。但し汚ないのとお飯米なのとを前以て承認した上で、といふ條件がつきました。』

『結構〳〵。』

子爵は大野の跡から入つた。鳩子もそれに續いた。生駒は不平らしく、渋々門口に猶豫つてゐた。

店は板の間で取附に大きな圍爐裏が切つてあつた。爐の自在鍵には五升入程の鍋が懸つて、何かぐつ〳〵と煮ゐてゐた。太い薪をさかんに燃してある焚火の周圍に、四五人の男が足を踏入れて、暖をとりながら茶碗酒を飲んでゐた。それが子爵や鳩子を見ると、異樣の洋裝に肝を潰したらしく、一齊に視線を投げてきよ〳〵と何か囁きあつた。

爐から丼を取下してゐた六十前後の禿げた、屑人の半纏を引かけた老爺が、子爵の姿が目に入ると、慌てゝ轉り込んでお辭儀をした。『これお宿の主人です。』大野は紹介するやうに言つた。

『御厄介になりませうか。』子爵は傾いて『大勢で厄介になるが、どうか宜しく。』鷹揚に言つた。

山縣五十雄　村上唯吉共著
富の道しるべ　價十五錢　郵税二錢
京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

ロコツパ會偶會

大陸の一角を情緒もなく揃り切つて來く瞬へ往かるゝ小蟹野崎敬輔君を今暫無理に江戸川樓上に聞して送別句會を催ふしました。席上題に旬に同人各自の感激を眼めた紅帳帖に頼ては月の綴編にほとり住みする小蟹君に永來物なくてならぬ一つであらうと思ひます（五月三十一日夜記）

△送別句

汁の或は分る花一つ　袋人
此日離愁の句を囑す五月壺　瀬村
初松魚時鳥江戸に上らんせ　雄川
夏朝けふる山や南驛君送る　湖東
丈壇に横行の友送る夕蕭る　魚竹
君を送る古驛の夕時鳥　山猿
卯水鶏や宵をば物足らぬ　自紅
今日君と別るゝ橋の時鳥　僮環
多摩晴れたり鮎山の太り　田柿
アカシヤの花薫る君と訣れ　黄丘

△金魚

金魚器やおとして寫る人の顔　小蟹
水盤の石白く寸の金魚かな　葉堂
名なき金魚名なし藻草と睦み居　雄川
巴庭出で町の辻金魚賣れり　瀬村
水青くやきふ白く金魚異赤　魚骨
金魚や活きろ〳〵觀音經　亂石
夕立や金魚池の畔に寄る　湖東
跡のさゝ水金魚跳ね合へり　黄丘
金魚動かず風冷ゆ雨氣迫る　袋人
金魚放ちて泉水の石蟹へり　同

新刊紹介

▲壯丁讀本　陸軍中將田中義一氏の著述頭に軍人勅諭、教育勅語、戊申詔書、陸海軍人に賜はれる勅語詔社を載せ本章に入りて之を三十四章に分ち日本の國體忠君愛國の觀念日本の世界的地位及列國との關係より軍備の忽にすべからざる所以兵役の必要武士道の觀念軍人精神等を說き在郷軍人帝國青年の覺悟に

▲自給肥料綠肥及堆肥　從來肥料として使用し來れる過燐酸石灰硫酸アンモニア、大豆粕等の金肥を使用しなく綠肥を主として使用せしめんと爲め其の製法施用法作物土壤等に關する關係を詳說せるもの（一冊三十錢東京市麹町區三番町…）

▲學理的商略法販賣術　大戰は商人より購買せざるべからず…（三十五錢東京市小石川區…）

▲青年就職案内　就職難の聲は如何なる社會に…（本町三丁目文館）

▲家庭のローマ字（六月號）五錢東京市麹町區

▲大日本新聞（三〇一）五錢東京市麹町區有樂町一の三ローマ字ひろめ會

▲大阪小間物商工新報（四六二）本紙は第三十二頁…（五錢大阪市東區北久寶寺町二の一四共社）

▲宗報（一七六）五錢京都市烏丸大谷派本願寺内宗報發行所

▲婦人週報（二の二二）四錢東京市牛込區矢來町二の一七共社

▲人文（六月號）前號迄の心理學ムプレロト戰ひと文化中世社會論共他的…（一十四錢東京市小石川區自由御殿町一一七樽中舎書房）

▲世界（六月號）社說には貧富爭鬪と戰爭社會論共他的…

▲財政經濟時報（三の六）各國に於ける戰時經濟…（一冊二十錢東京市四谷區右京町九興社）

▲世の中（三の七）…二十錢東京市麹町區有樂町一の四實業之世界社

▲趣味之友（六月號）各方面の趣味を網羅せり（二十四錢東京市芝區…一の一共社）

▲寫眞界（二の四）有馬公園の一部、夏の伊勢、冬の光、暗闇の夕、ホワイトクリーズ、池畔の宴、冬の日の七里濱…（三十錢大阪市…）

▲料理の友（六月號）山海の珍味も要君の好心込めで惣菜料理に如かず…（二十二錢東京市…大日本料理研究會）

▲國民飛行（一の六）擴張に迫られ居る軍備中特に航空界の發達を計るは我國現下の急務なり…（十八錢東京市麹町區四番町某會）

▲隨鷗集（一三九）…風雅高韻文詩興湧くを禁ずる能はざらしむ（二十五錢東京府下千駄ケ谷九二四共吟社）

▲現代之科學（四の五）天文地學生物理化學其他の各欄專門的に科學を研究せんとする士の好伴侶たるべし…（二十八錢東京府下澁谷町二一五一戸直人藏）

京日案内

普通（一回五錢　但名一行二十字詰…）
番外（一回…）
▼申込受付…

▲故鹿廣商女卒業二十二、年齢十八九歳位、秩序正しき會社大商店の事務見習又は帳簿係を希望す（姓名在社）保證人を要す本人來談あれ　本町一丁目　大阪屋號書店　330

▲古本雜誌賣受け金は　本町二丁目五三七　ウツボヤ書店　320

▲外交員書籍持參の者を募集す（給料優遇）　大正日日新聞…　328

▲有給社員急募集　京城黄金町二丁目　170

▲明治町フランス公使支部　180

◎ホテル　子ツギ・うちみくじき　電話二五九五番　仁壽堂

◎貸家　日本建官吏食料寄宿舎向家賃格安　便用あり電話二四三六　488

新聞配達人數名募集　本人來談あれ但市内に確實なる保證人を要す　京城明治町三丁目　329

京城　問自働車　乘合　京城驛　前八時　春川　電話一二六　京城水標橋通り　京城春川間　文配人松田　322

京城廣橋自働車　電話二九番　60

荒物食料　雜貨　井上商會　京城黄金町三丁目水標橋通入　電話三〇八三番　306

茶花琴教授　月謝のみにて各教師となる　京城大平通一丁目京城日報社西側　327

小兒科　内科　爲春堂醫院　大和町一丁目（日の出橋下る）　北約二丁明月館南（電話九一八番）　191

京城永樂町一商品陳列館坂の上　皮膚病　花柳病　専門　須古醫院　電話三〇二番　196

礦物定量分析　坂元分析所　京城太平通　電話三四四番　416

家庭で即日効驗ある　りん病三日藥　服用　京城明治町三二丁目四　朝鮮發賣元　本舗　473

調査（信用、財産、人事、入札、貸借、其他）　京城明治町二の三七　振替三五九五番　朝鮮興信所　478

玄米乳　類似の名たる不良品あり御用心　東京化學研究所指定店は京龍間に本舍一ケ所とす　494

子供入用　十五六歳迄要身元保證人　京城本町二丁目　横山隆一支店　332

衛生純粹　増培養　牛乳　ヨーグルト　京城漢江通四町　東亞牧場（電話二二五番）

これ皆最近實驗者の寫眞なり

（一）愛知縣…　（二）…　（三）…　（四）…　（五）…　（六）…　（七）…　（八）…　（九）…　（十）…

頭痛持と婦人病

油斷のならぬ警戒期、今が病氣の起る時

痛くて〳〵堪らぬと云ふ程でなくとも生温い風の吹く日など何となく頭の心がズキ〳〵痛む之は腦でも惡いのではあるまいか、それとも風邪をひいたのかなど間違つた手當をしてゐる婦人が澤山あります中には又頭痛や眩暈のするのを一日に陽氣の加減だと云つて何でも彼でも氣候の故にして了ふ人も尠くありません然し氣候は潜んでゐた病氣を惡出すと云ふだけで根に疾患さへ無ければどんなに陽氣が變らうが著からうが、又は生温い風が吹かうが決して頭痛や眩暈のするものではありません、氣候の變り目の今月經が不順になつたり、足腰が冷えたり、頭の工合が惡かつたりするのはツマリ子宮に故障があるからです殊に『頭痛持は私の持病だ』など云はれる御婦人は大抵婦人病に罹つて居る證據です。それ故此際油斷をすると病氣は俄に昂進して遂には取返しのつかぬ重症に陥ります

子宮病の一般症状

婦人病の特徴として　頭痛、眩暈、逆上、月經不順、帶下に次いで下腹が引吊るやうに痛み、固い拳ほどの塊が出來てそれが時々胸元へ差込んで來る。そして月經時でもないのに淡汁のやうなヌラヌラした惡臭い分泌物が出て實に不快極まるのみならず、之が俗にこしけと云つて怖るべき不妊症の原因になるのです何故かと申せば此の分泌物の爲に精蟲の進路が塞がれる、卵が姙孕せんとしても發育する場所が無くなる分泌物の中に含まれた酸性の爲に精蟲が殺される。この三つの理由から不妊症となつて一生子供が出來ぬやうになるのです。

婦人病自宅療法

世にも不幸なる子宮病の苦痛を脱して婦人の天職を完ふし、健全なる子寶を儲けるには先づ婦人衛生に關する一通りの心得が無くては なりません。それには婦人科専門大醫の書かれた『婦人病者の心得』と云ふ本を讀むのが一番捷徑です。本書には姙娠の一及び不姙の原理から婦人病一切の治療法、産前産後の養生法まで詳しく說明してありますから何人も自宅で安全に治療する事が出來ます。本書はハガキ又は電話で御申込あれば何れなりとも無代進呈します。

東京市京橋區新榮町四ノ一（電話京橋二二〇一番）　命の母本舗　笹岡省三藥房
大阪市北區本庄中野町四五七（電話東二二三番）

▲ルーデサック　A十個四十錢　以上形一個廿五錢女用一個八十錢　增一割引外に要送料一個六十錢　京城黄金町三山田文殊堂藥房

花柳病專門藥

本劑は我商會が多年の實驗と最新學理の應用とに依り梅毒淋病其他諸種の新藥を主とし健胃の良劑を調和せしめて合理的に配合しためるる卓効を以て花柳病疾患に服用して安全に治療の目的を達し得る最新良藥なり

梅毒淋病　下疳　◎一週間分　普通金壹圓廿錢　持藥金貳圓　普通金貳圓五拾錢　持藥金貳圓五拾錢　申込あれ無代寄送す　自宅療法

京城永樂町三丁目　東京ドラッグ商會滿鮮本部　交番北
◎類似品あり花柳病には東京ドラッグの製劑に限る

故嘉一郎追弔會相營み候際は御多忙中にも拘らず御來會被下難有御禮申上候尚何々御混雜中御名前漏れも可有之候に付乍略儀以紙上御禮申上候
六月三日　男　今井嘉三

金泉鎭泉間自動車時間　上り　下り　…
金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
大正丸　六月　日後四時出帆
大有丸　六月十三日後四時出帆
神代丸　六月四日後四時出帆
秀吉丸　六月九日後四時出帆
君が代丸　五月　日後五時出帆
仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行　立神丸　六月廿三日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　六月　日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行　小倉丸　六月　日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　六月　日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三平丸　六月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三平丸　六月
○佐須奈、巖原、壹岐、博多行　天眞丸　每月二、九日、十四日、廿一日、廿六日午後七時出帆
釜山府本町埋立新町　大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行　第十共同丸　六月一日入港　六月　日出港
朝鮮鐵道主要驛にて荷客通輸送取扱仕候　大連にては青島行定期船と連絡　背後共立航路…
○西湖津沿岸各港を經て雄基行　第一阪鶴丸　月　日後九時出帆
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆）第三共同丸　月　日前入時出帆
仁川代理店　阿波國共同汽船株式會社　本町一丁目（電話一〇八番）
元山代理店　山下回漕部（電話二四七番）
京城取次店　田口回漕部（電話二六八、二〇七）　河村運送店

朝鮮郵船出帆

本社　京城南大門通　電話長一九五二番
支店出張所代理店　…
京城取次店　松原運送店（電話長一七〇番）

○全羅丸　京城、釜山　六月十一日　釜山發
○京畿丸　六月廿一日
○黃海丸　六月五日
○成鏡丸　六月十五日　各港經由全羅沿岸航路
○穩城丸　元山より各港經由雄基行　六月二日　元山發
○昌平丸　六月
○鏡城丸　六月六日
○忠清丸　城津、清津、浦鹽行（復航釜山より門司又は長崎行）　六月十九日　元山發
○平壤丸　六月十二日
○永興丸　北久味、五里浦行　每月廿八回　元山發
○咸德丸　甘浦、九龍浦、浦項各港經由釜山行　六月六日　釜山發
○江陵丸　長生浦方魚津寄港　每日　浦項發
○漢陽丸
○三浦丸　長承浦、巨文島、濟州島各寄港　六月六日　釜山發
○海州丸
○統營丸　每日　釜山發
○巨濟丸
○慶寶丸
○順天丸　各港經由麗水行　三日目每に　木浦發
○公州丸　各港經由濟州島行西廻　六月十日　木浦發
○公州丸　南多島海列島行（月三回）　六月十五日　木浦發
○慶興丸　各港經由濟州島行（東廻）　六月八日　木浦發
○宗信丸　海州龍各港經由德洞又は白翎島行　六月十日　仁川發
○江原丸　青島、大連、芝罘行　六月六日　仁川發
○麗水丸　六月十日
○晉州丸　各港經由木浦行　六月五日　仁川發
○錦江丸　每日午前　仁川發
○南陽丸　江華島、喬桐島、海州行
○平安丸　往航大黑山、木浦、門司、若松行　復航門司、木浦、群山行　六月七日　六月十二日　群山發　若松發

大阪商船仁川出帆

○外國航路（遠洋航路を除く）に關する船客乘船の時は五分前迄に發航切符を御購買被下度候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
×大智丸　六月八日
×天草丸　六月十二日　後五時出帆
○木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
×天草丸　六月六日　後二時出帆
×安東丸
○木浦、釜山、巖原、鄉の浦、長崎行
×信濃川丸　六月四日
×信濃川丸　六月十六日　後二時出帆
○鎭南浦、大連行
×信濃川丸　六月廿九日
×信濃川丸　六月十一日　後二時出帆
○大連直行
○福州丸　六月十八日　正午出帆
○潮州丸　六月八日
○群山、釜山、横濱行
○潮州丸　六月十三日
○福州丸　六月廿二日　後二時出帆
○清津、浦潮行（元山出帆）
▲印、城津、西湖津ニ寄港、浦潮不寄港
○須磨丸　六月八日
○安平丸　六月十四日　後二時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
○基隆丸　六月十七日
○湖北丸　六月六日　後四時出帆

御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前に御乘船被下度候
○×印は一等客御斷り　△印は船客御斷り
京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店（電話一二番）
切符發賣所　内國通運會社支店
▲中國四國沿岸各港行船客に對し門司へ當分の間割引を以て神戶の割引切符發賣仕候

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
相模丸　六月四日　正午出帆
高砂丸　六月十二日　正午出帆
三河丸　六月廿四日　正午出帆
仁川海岸町十三番　電話十一番　堀回漕部

商況

大阪株式時報
…
下關期米時報
…
▲二十…
▲現物界…
二日の八月限
…